

勢陽五鈴遺響 度會郡

三十二

和書門
二九〇一九
函號類
四〇
冊架

內閣文庫
和書類
二九〇一九
四〇冊
二四架
一七函

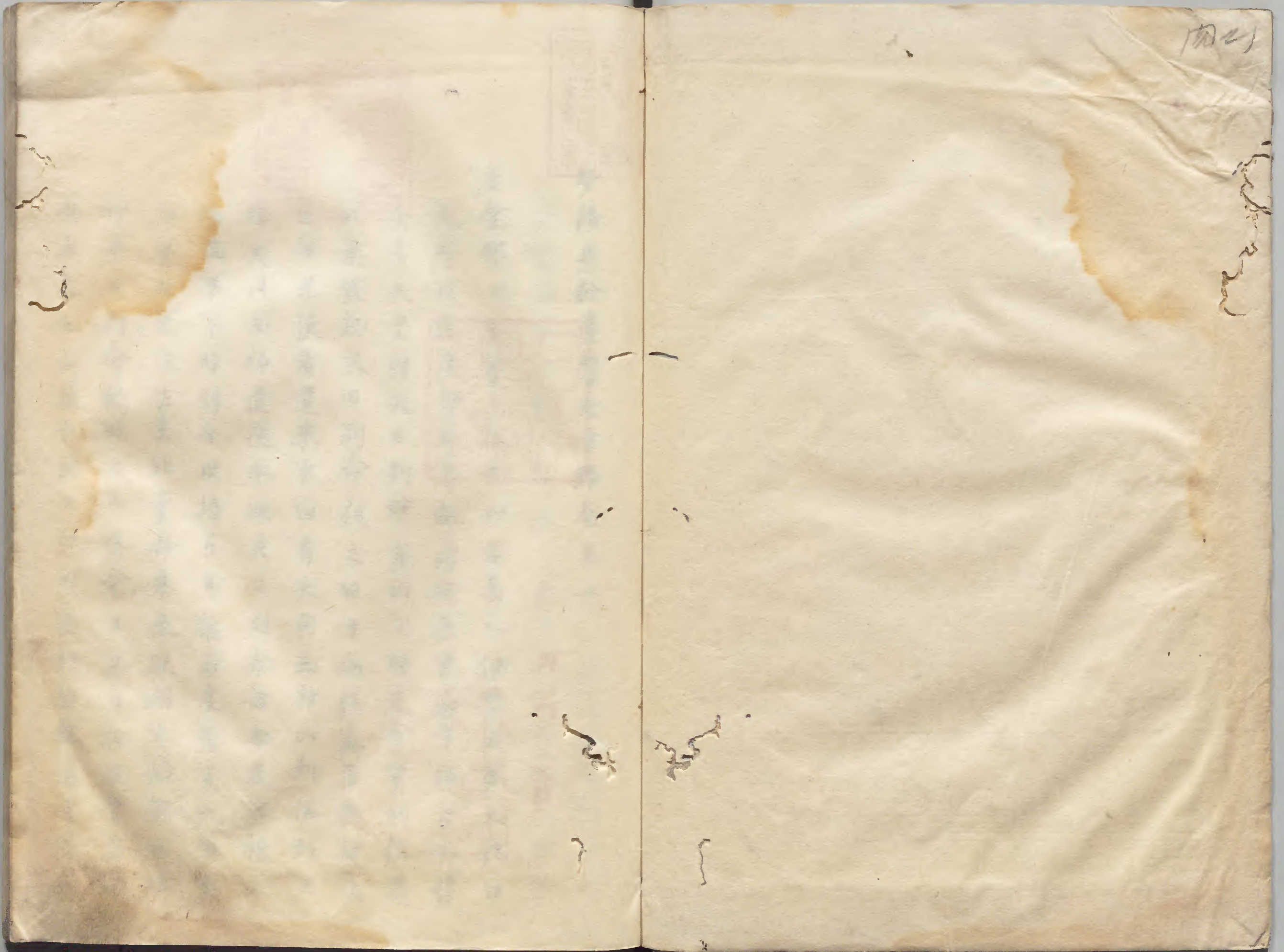
閣21

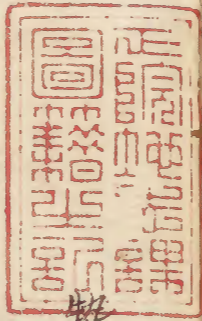
內閣文庫
番號和 29019
冊數 40 (32)
函號 172 310

丙
一〇二五號



1021



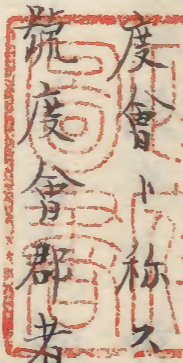


勢陽五鈴遺響度會郡卷之一

丙一〇七二五號

度會郡

夫所以



此名義八伊勢國風土記曰
御宇神日本磐



余彥天皇謂天日別命覓國之時度會賀利佐嶺
火氣發起天日別命視之曰于此佐氣居歎禮使
送命見使者還來申曰有大同玉神加利佐到于
時大同玉神遣使奉迎天日別命因令造其橋不
堪造畢于時到令以榑弓為橋而度焉爰大同五
神資弥豆佐佐良比賣命希來迎相土橋鄉因本
村申日別命歎地出之齋會日力自尔度會焉因
以為名也 延長風土紀及倭姬世紀裏書等所

載大同小異歎地出之四字或作欲地出之共義
難解恐漏脫孰レ度會ノ名ハコ、起レリ
然ル、大同本紀云長柄豊前宮御宇孝飯野多
氣度相總一郡也以己酉年始置度相郡ト載
ル、孝徳天皇即位五年己酉、メ始テ置ル、
ハ非トス、己酉、

原本此處闕多

十リ、倭姫命世紀神服社難波長柄豊前宮乃
御宇丙午年竹連磯部二氏建此郡ト録スハ多
氣郡既ニ頒テ神服社ヲ始テ建タルナリ
度會郡名ハ神武帝朝ニ著明ニメ後世ニ渡遇
或度相或渡會ト轉メ書リ 風土記所謂賀利

佐嶺ハ倭姫命世紀云一書曰神倭熊余彦天皇
御宇惡神伊不加理立人民亡火氣祭起而天下
不安佐流故亦以日別命遣使大己貴神復命
志互祭兵從西回征此東洲之時崇祭大國玉神
復命天皇歡詔曰宜取伊勢國而為天日別命村
地此地不堪火氣伊勢乃多賀佐山嶺亦造石室
使居天日別命殺戮荒振神等罰平不遵堺山川
定村邑者也以夫日別命子崇祭度會用御社也
彦岡見賀岐建與末命是也細注母者大國玉命
女美津佐々良姫神是也 風土記所謂賀利佐
嶺一名高佐山或佐貴山或日鷲山或音無山或
鷄不鷲山ノ諸名嶺本綴及元長叅詣記ニ等ニ

載テ各今本郡外宮域ノ高倉山方俗所謂夫ノ
 窟戸山ヲ指リ土橋郷ハ今ノ繼橋郷ニシテ
 大同五命其女美津佐佐良姫神ヲ併セ祀リ式
 内大同五比賣神社高倉山ノ南ノ岨ニアリ世
 紀所載彦國見加岐彥與束命ヲ奉祀ス度會國
 御社ハ同外宮ノ北ノ域内ニアリ化テ齒列ノ
 地ニメ今ニ著シ後號其地ニ松テ併考ヘシ
 續日本紀第三十三光仁天皇宝龜六年二月丙
 子遣使於伊勢繕修渡會郡堰溝且命行視多氣
 渡會二郡宜耕種地神宮雜例集曰度會郡四
 百四十七畑神鳳抄云度會郡二段瀧原宮神
 田在田邊郷同所載有名未識神社内宮大

野御園 同永沼御園 同高羽江御園 同永
 野御園 同高柳御園 同若菜神田 二宮大
 橋御園 田御園 中嶋御園 鳩山御園 忌
 部御園 塩俵御園 外宮无漏御園 中至御
 園 長野御園 新開御園 内宮土師御園
 梨子御厨 二宮池上御園 内宮大沼御園
 同稻繼御園 泉御園 野田御園 石河御園
 櫻御園 檜尾御園 古宇治御園 若田御園
 田村御園 衣依御園 高笠御園 舟橋御園
 外宮神領目錄未識神領 高羽江御厨三石
 内六月一石九月一石十二月一石 若田井御
 厨五斗九月五斗 大橋御厨六斗六月十一九

月三斗十二月三斗 无漏御厨二石二斗内六
月九月十二月 汁島御園 袴田御園 中屋
御厨三斗九月 類聚和名鈔第六度會郡 加多
良比 宇治田部 多乃倍 城田 木多 湯田 由多 伊蘇
以曾 高田 箕曲 美乃和 沼水 奴木 繼橋 都木 波
二見 布多美伊介 伊介 馱家 陽田 比奈多
以上十三郷ナリ
宇治ハ今宇治アリ内ノ謂ナリ四境ニ山嶽尚
然トノ其内ニ郷邑アリ其故ノ名ナリ古事紀
景行卷倭建命御歌云
多々那豆久阿袁加伎灰麻基母禮流夜麻登
志宇流波斯

萬葉集第六云芳野離宮者立名附青牆隱延喜
式祝詞出雲国造神賀詞述杵築社狀條云出雲
国乃青垣山内 尔下津石根 尔宮柱大敷立 氏
古事記叙註云内宮号者内者宇遲郷本名也故
就處地因以旂内宮也神名秘書云度會宮者外
座之故申外宮云云是ハ内ニ相對ノ外ト旂ス
ル名トリ 日本書紀神武卷山背内村俯見村
コシ宇治郡宇治ヲ指メ謂ヘリ孰シ山澗ノ内
ノ意ヲ含タレト解スヘシ然レハ内外宮ノ號
ハ彼徒ノ秘蘊ヲ多シトイヘ凡皆牽強ノ臆說
ニメ強テ拘泥スヘカラス 延喜大神宮式云
凡三箇神郡拔班損不堪但及計帳疫死等政宮

司與同寧共行之雜務者起自度會郡宇治郷始
行今朝熊捕部中村東西鹿海松下一字田寺村
邑ノ宇治六郷ト稱ノ屬邑ト不社記ニ朝熊捕
部中村鹿海松下ノ屬セリ又二見七邑ノ宇治
郷ニ屬ス上世所謂ノ二見郷ナリ 田部今俗
タヌヒト稱ス上田邊下田邊アリ田邊ニ作ル
田邊ハ内宮年中行事ニ出タリ 倭姫命世紀
云從其所幸行高水神詣リ相支汝力同名何問
給布白久岳高深坂手國止蒼白且田上御田進
支田上ニ作レリ 内宮儀式帳云一神田行事
合陸町九段並在度會郡 見佃御田ニ町四段
荒水田一町並二町御膳料 今誓ニ荒水田
宇治田一町並二町御膳料

八田邊ニアリ宇治田ハ宇治郷捕部ニアリ
内宮年中行事云 正月六日御稻於御膳料米者
為田邊御神田作丁沙汰以彼稻所奉春也 田
邊神田ノ事ハ坂手國生神社ノ條ニ詳ニセリ
社記ニ蚊野及原村此郷ニ屬セリ
城田名義未詳神鳳杪外城田郷内城田郷ト載
ス宮河ヨリ北ヲ内城田ト稱ス矢野山神宮古
等此郷ニ屬セリ宮河ヨリ南ヲ外城田ト稱ス
久具川口等此郷ニ屬ス外城田ヲ今世時田ニ
作ル
湯田今湯田村アリ名義未詳 神名秘書ニ佐
田小社小保此郷ニ屬ス

伊蘇今碓村アリ豊宮河ノ下流ニ海瀕ニ近
キ故ニ名リナルヘシ 倭姫世紀云玉掇伊蘇
岡ト載ス或云碓村ノ東北ニ居ス上條西條
原上路等ハ神鳳抄云内宮高羽江御厨廿三町
二段百八十歩麥三石六九十二月ト載ル処十
リト其徴トスヘキナシ
高田ハ高向ノ誤字ナルヘシ今高向アリ或云
豊宮河ノ南際ニ高倉山ニ相對シテノ名義
ナリ 社記ニ宇須乃野神社高向郷高向村ニ
左トス其餘長屋友王中嶋小枝等モ此郷ニ属
スヘキ形勢ナレバ其徴トスヘキアリ外宮
神領目錄云長屋御園ノ内小枝村ノ田畠段別

五升長屋ニ附属セリ
箕曲 美乃加ハ水ノ輪ノ意ニメ箕ハ假字ナ
リ今ミノフト訓ス河嶋舟江ノ東西ニ流勢田
河ニ傍テ水際ノ郷名ナリ今箕曲神社田ハ外
宮域ノ良位箕曲ニアリ其地モ箕曲ト稱ス此
地ヨリ河流ニ隨テ大湊神社村其外河傍ノ村
邑ハ谷此郷ニ属セリ 神社本源神名秘書箕
曲郷勾村河原大神社及大口村御食神社寺此
郷トス勾村ハ今ノ新聞大口村ハ今ノ神社村
ナリ其餘ニ詳ニセリ
沼太 沼ハ池沿ノ義水ハ樹ナリ上世豊宮河
ノ支流郷邑ノ中ニ溢流スト謂フ沼池ト樹林

ト參差トノ交錯ス土佛奉詣記云宮川ヲ涉リ
端山繁山ノ陰ニ至リテハコノモ彼面里
道ヲヒテキテ誠ニヒトクヤコナリ 外宮延
曆儀式帳云外宮在度會郡沼木郷山田原村其
餘河原坐国生神社大間国生神社清野井神
社各外宮域ノ北ニアリ志等美大河内神社園
相神社河原神社等佐八積良村ニアリ社記ニ
此郷ニ属ス

繼橋 風土記所謂土橋郷ニ人名義ハ郡名ヲ
釋ニ詳ニセリ前山今ノ鼓岳山下ノ村邑ヲ指
ス外宮山宮神事祝詞ニ此郷トス豊宮崎山夫
社田上大水神社大田玉比賣神社等神名秘書

ニ繼橋郷ニ在トス其條ニ詳ニセリ坊間ノ岩
淵祇尊寺排介記繼橋郷岩淵又吹上町 内宮
儀式帳奥書云文和三年甲子四月十九日於伊
勢国度會郡繼橋郷河原吹上書字畢権祢宜度
會神主實相トアリ此地ニ至テ此郷ニ属セリ
ニ見 倭姫世紀云ニ見濱御船坐于時大若子
命ニ同名何問給白久速兩ニ見同止白支一本
ニ速雨ニ作ル義未詳或云速西ハ倭姫命始ノ
尾張国中島宮ヨリ伊勢用素名野代宮ニ行幸
ノ時既ニ海面ヨリ瞻望アリシ地ナルヲ今將
親リニ見玉フ故ニ速雨ニ見ト名ニナリト今
ハ今一色西村庄村三津山田原溝口江村ヲ合

メニ見七郷ト旃不古昔ハ出口村アリ廢セリ
凡テ宇治ニ屬ス

伊介 或伊氣ニ作ル伊介ノ名義ハ松下村ノ

南志州小濱村ノ西ニ伊介浦ト旃ノ曲灣ノ海

ナリ郷ハ廢亡ノ名ノニ存ス然レモ伊介郷ハ

今ノ志摩州鳥羽府城ニイタリ上世ハ當國ニ

屬セリト見ヘタリ其故ハ古書ニ伊勢嶋ト旃

スルカ如シ今ノ鳥羽城中ニ相橋アリ其下流

ハ城北ノ堀口門ニ至ル古昔ハ本町ト大里町

ノ中間ヲ經テ常安寺ノ門前ニイタル時ハ舟

ヲ通セシト云今モ溝渠アリ此地ヨリ以南ヲ

東ニ至テ志摩州荅志郡ナリ是ヨリ北西ハ本

州ニ屬セリトイフ即伊介郷ナルヘシ今ノ志

州堅神村觀音寺ハ洛西仁和寺門跡ノ末院ナ

リ仁和寺ノ記録ニ勢州度會郡堅神村觀音寺

ト録セリト内宮儀式帳云至神堺云云北

比奈多嶋旃島志婆崎酒滝島阿婆良岐嶋大嶋

屋嶋歌島都久毛島石嶋牛嶋小嶋等為海堺云

云酒滝島ハ今案ルニ坂手村ナリ阿婆良岐嶋

ハ飛島ナリ都久毛嶋ハ荅志郡荅志ノ大築海

小築海ナリ牛嶋ハ飛嶋ノ東海中ノ浮嶋ナリ

旃嶋ハ神宮雜例集所謂戸嶋ナルヘシ今廢島

或ハ神嶋ニ訛ル後人ノ旃ノ字ヲ訓訛レルナ

リ各今志摩州ノ有ニメ上世ハ内宮ノ封疆ナ

リニ微明ナリユ、ヲ以テ今ノ志摩州ノ半裁
ハ本州ニ隸セルヲ曉スヘシ
馭家今未詳憶フニ多氣郡齊宮ヨリ湯田郷離
宮院ニイタルノ間ニ馭舎ノ地アルヘシ
湯田比奈多ト訓ス内宮儀式帳所謂比奈多
鴻ナリ今方俗月白山、糸ス伊介郷伊氣ノ浦ト
加夫良胡ノ嶋ノ中間ニアリ此地伊介湯田ノ
二郷大牙ノ地ナリ或云山田ヲヤウカト俗呼
スルニ拠リテ山田坊間ノ地ヲ此郷ニ充トイ
ヘリ前ニ叙スル如ク沼本郷ニ和名鈔ニ比
奈多ノ訓アルヲ以テ曉スヘシ本州他郡ノ郷
名其各義其地詳ニスルヲ不得ハ今古ノ

差傳アルニ拠レリ本郡ハ神社ノ所在多キカ
故ニ旧録ニ拠テ其徴ヲ得クリ故ニ詳ニコ、
ニ及フ
本郡界域ハ東ハ海瀕ヲ限り西ハ紀伊州牟婁
郡ヲ限り南ハ海ヲ限り北ハ多氣郡ニ限レリ
本郡疆域行程本郡大内山梅ヶ谷ヨリ紀伊州
牟婁郡田堀山ヘ二トニ町一里坂ヨリ荷板峠
ヘ十四町嶺ヨリ紀州片上池ヘ二十二町又大
内山駒村ヨリ紀州牟婁郡長嶋ヘ三里七町西
國三十三所順禮熊野街道ナリ本郡新来竈ヨ
リ紀州牟婁郡錦浦ヘ一里廿二町紀勢田堀十
リ本郡田曾浦ヨリ志摩州英虞郡南張ヘ二十

八町内廿五町本郡ナリ国堺ヨリ南張へ三町
勢志ノ堺ナリ本郡山原ヨリ志州英虞郡筑地
へ十五町十二間本郡朝熊ヨリ志州荅志郡堅
神へ四十一町十七間堂坂越ト旃ス堀功封疆
境木アリ同州鳥羽府城街道ナリ同朝熊岳ヨ
リ南ノ溪路妙珍馬場ヲへテ志州荅志郡河内
へ二里十七町同宇治ヨリ志州荅志郡惠利原
へ志勢同界マテ三里半九町七九間磯部越伊
雜官街道ナリ或相坂越凡云封疆アリ相坂ヨ
リ志广ノ内三十二町廿八間一里塚アリ同
朝熊岳金剛證寺門前ヨリ志州荅志郡堅神へ
間道アリ同山田ヨリ鳥羽府城へ三里同州堅

神ヨリ鳥羽へ二里
海路行程 本郡大淡ヨリ三州廢美郡大崎へ
二十里同幡頭郡吉田へ廿里同伊良虞崎へ九
里尾州愛智郡熱田へ二十五里同知多郡篠嶋
へ八里同師崎へ八里同復佐へ七里志广州荅
志郡鳥羽へ三里同英虞郡畔兼へ九里同荅志
郡神島へ七里本州飯高郡松崎へ三里同安濃
郡津へ八里同二重郡四日市へ十五里同菴藝
郡白子へ十一里同桑名郡桑名へ十八里
村邑 文祿二年檢地 百二十四村

正保二年 二百二十六村

明曆三年勢陽雜記所載 百八十八村外
小邑 二十二村

元禄十三年 二百六十一村

今計百七十三村 外小邑百五村

外田九山田宇治町三處

総合二百七十八村

正税高 文禄三年檢地 四万四千三百九十石七升

雜記所載 四万三千六百六石三斗

内 二万六千百五十六石八升六合 田方

一千七千四百五十石一斗一升四合 畑方

外 六百九十二石六升七合 新田

元禄十三年 四万五千五百十六石四斗八升四合

大内山 本郡ノ西南極界ニメ紀州牟婁郡ニ界

ヘリ總裁ノ大内山谷ト俗稱ス 正税二百五

十二石 紀州田九領ナリ 屬邑ハアリ名山間

梅ヶ谷 紀州本州ノ堺ナリ 小津 梅ヶ谷

ノ北ニアリ 川口 小津ヨリ三丁河西ニア

リ 中野 川口ヨリ二町西ニアリ 米ヶ谷

中野ヨリ十八町西ニアリ 三瀬谷 大井ヨリ

井良野 川口ヨリ良位ニアリ 間弓 井良

野ノ川南ニアリ 小津ノ十八町東ナリ 川口一丁

川ア 小屋 間弓ノ北ニアリ 駒村 間弓

ヨリ一里東ニアリ 州ア 此外駒野アリ

大内山ノ内米ヶ谷ヨリ溪路廿町ヲ歷テ紀州

牟婁郡赤羽へ徑たり近曾温泉ヲ涌出ス村民
浴スル者多シ同長嶋浦へ隣比セリ同処米ヶ
谷廿所許山上ニ地藏石像アリ潮水ノ満干ニ
隨テ余身ニ汗ヲ發ス按ニ海脈ノ通スル処ニ
ヤ又海産ノ崑石ニテ彫セシ石佛ニヤ其真ハ
得ス然レハ海脈ノ通スル処山中ニ塩井アリ
食塩ヲ製ス西上ニモ多シ本邦信濃州伊奈郡
檜尾村山中ニ村民食塩ヲ出ス地アリ又遠明
掛河駅ノ東雌鯨山ニモ潮脈アリ又奥州會津
山中ニモ塩井アリ其餘多シ海脈ノ通スル
ニ非ス磐石氣ヨリ生ス温泉アリ鹹苦ノ味ア
大川敢テ混渚スヘカラス

大内山城墟大内山但馬守居ス伊勢軍記ニ載
ス城址未詳
崎村大内山駒村ノ二十町河東ニアリ正税
二百四十八石紀州田九領ナリ屬邑下崎
長野木屋沖田木屋笠木木屋新田春
日本屋新田三合野新田崎古和河内新田
錦木屋新田横谷新田等アリ木屋惣ノコ
ヤト訓ス此隣比ノ習俗ナリ
崎城址山崎式ア少輔居セリ
柏野崎村ノ良位ニアリ川南阿曾ヨリ南一里
正税二百三拾八石紀州田九領ナリ屬邑
注連小路木屋新田木邑ノ南ニアリ注連野

新田 垣内尻 柏古和河内新田アリ
古和 柏野ノ南海瀕ニアリ朽木竈ハ四十
正税五十一石紀州田九領ナリ方俗古知浦ト
稱ス漁戸多シ ア口ニ新田 十トシ新田
小邑アリ海岸ヨリ洋ハ三十三町ノ間濠江ナ
リ風濤ニ不拘舟カヨリヨシ深七八尋紀州錦
浦ハ船行二里半
新素竈 本州南海瀕ノ極界ニメ紀州牟婁郡ト
本州ノ界ナリ 棚橋竈ノ坤位ニアリ牟婁郡
錦浦ハ一里半 正税五石紀州田九領ナリ惣
シテ南海ニ限リ棚橋竈朽木竈小方竈赤崎竈
大方坐竈道行竈大方竈相賀竈田曾竈等ノ小邑

アリ新田枝郷ノ類ニメ上世所謂戸畑ノ称ニ
比メ竈ト称スナルヘシ方俗俚諺云竈ト称ス
村邑ハ壽永ノ後ニ平族西海ヲ沈落メ此地及
紀海ニ潜リ窟居セルカ其餘裔ノ今ニ存スル
処故ニ尋常ノ村落ニ非ス其黨ヲ結テ竈ト名
クト云其真ハ得不然レハ紀州熊野ニ平惟盛
潜行ノ事蹟源平盛衰記平家物語等ニ載タリ
又志州英志郡五智ニ平族潜居ノ謂アリテ軍
旗ヲ村中ニ秘藏セリ方俗諺言トイフトイハ
日敢テ誣ヘカラス 此浦暴風怒浪ニ不拘船
ヲツナクニヨシ深七八尋南位ニ芦ノ濱ト云
アリ海底深五六尋船ヲ泊スルニ相同クヨシ

又巽位 小嶋床嶋アリ或ハ座嶋ニ誤ル

棚橋竈 新来竈ノ巽位ニアリ崎村ノ内錦木屋

ヨリ巽位三里 正統六石紀州田丸領ナリ新

来竈ノ間海底深七八尋暴風波ニ不拍船ヲ繫

クヘシ古和浦ヨリ舟行ノ至ル海路一里

朽木竈 古和ノ四町東ニアリ海瀕 民居ス

正統六石紀州田丸領ナリ雜記ニ朽木トノ

載ス粗ナリ朽木竈小方竈ノ間海底深十五六

尋崖深シテ船ヲ繫クニヨシ南ノ岬ヲ九崎カ

ケ寄寄ノ名アリ

小方竈 朽木竈ヨリ十三寸東ニアリ 正統四

石紀州田丸領ナリ

方座 小方竈ノ巽位ニアリ方座浦或方座竈ト

称ス海崖ニ民居ス 正統四石紀州田丸領ナ

リ海岸ヨリ洋ニ三十一町ノ間入江ナリ風濤

不拍船ヲ繫クヘシ海底深十五六尋

村山 小方竈ヨリ廿七町東ニアリ河内ハ十九

町 正統百三十一石紀州田丸領アリ 属邑

伊勢地アリ 小邑ニ処アリ各本邑ヨリ北位

ノ山間ニ居ス本邑ハ海岸ニ近シ

神寄 村山ヨリ巽位三町ニアリ東海瀕ニアリ

小方竈ハ廿町 正統十一石紀州田丸領ナリ

雜記神前ニ作ル 公牒相同ニ方俗神崎ト称

ス岬ヨリ一里海入テ磯ノ深九尋風濤ニ不拍

舟ヲ繫リヘシ 南位ニリカヘ岨 辨テ天岨
属邑アリ古和浦へ舟行メ至ル三里又志州島
初府へ舟行メ至ル海路三十三里 巽位ニ倭
煙山アリ領主ヨリ所置ニメ蜜船漂着其餘非
常人武備ナリ惣メ此海嶼ニ住タアリ

赤崎竈 村山ノ東南十六町ニアリ 一本云初

本竈ニ属スト然レ氏五十六町ヲ隔テ本邑ニ

近シ夫其真ヲ詳ニセス姑クユ、ニ録ス

河内 村山ヨリ十九丁良位ニアリ 正税五十

五石紀州田九領ナリ赤崎竈ヨリ三町北ニア

リ山間ニ民居ス本邑ノ東ニ一里坂アリ東宮

へ山路嶺アリ

仙宮社 同処ニアリ紀州領主ヨリ高三石免

許アリ

東宮 河内ヨリ坂路ヲ歴テ巽位ニアリ南海崖

ニ民居ス 正税百九十石紀州田九領ナリ

属邑田名瀬 小納戸新田アリ 荒磯舟繫キ

既ニ旧名上貢ニ人後世ニ東宮ト音ヲ假テ

妄訛セリ三角、柏ノ葺真否ノ考アリ別ニ記ス

八王子祠 同処ニアリ紀州領主ヨリ高十石

免許アリ

奈屋 東宮ノ巽位ニアリ海崖ニ民居ス 正税

七石餘紀州田九領ナリ海岸深六七尋荒磯ニ

テ舟ヲツナリニ厩ニ 属邑立崎 熱嶋アリ

雜記 = 贊嶋贊浦 = 屬スト云へリ孰レ奈屋東

宮赤崎竈ノ間ノ海中ニ跨レリ

贊浦 東宮ヨリ十七町東ニアリ 正統三十九

石紀州田丸領ナリ 大神宮神戸鶴倉慥柄ニ

近シト世神供ノ贊ヲ漁タル地ナルハシ 入

海深五六尋風濤トモ 舟ヲ繫クヘシ 屬邑

牧ヶ嶋アリ 神鳳抄云贊村御菌一本贊街園

外宮神領目錄云贊浦當時御贊大鯛二枚小鯛

五十枚

慥柄 贊浦ヨリ十一丁良位ニアリ 正統七十

八石紀州田丸領ナリ 海湾深四五尋荒磯舟

ヲ繫クニ忌シ 屬邑荏嶋アリ 神鳳抄云慥

柄御厨 外宮神領目錄云慥柄浦當時御贊鯉

二本銀拾貳文

道方 慥柄ヨリ十八町東ニアリ又舟行メ至ル

一里 正統百六十六石紀州田丸領ナリ 本

邑ヨリ北ヲ經テ野見坂ヲ超ヘテ同郡駒ヶ野

中村へ至ル本郡山田街道ナリ南海ノ漁民魚

藻ヲ市鄺ニ贈ルニ日毎ニ此路ヲ歴タリ道方

ノ名義ハ南海往還ノ道淳ノ謂ナルハシ 本

邑ノ西ニ一里塚アリ 神鳳抄云道方

大江 道方ヨリ一里東ニアリ山ニ傍テ民居ス

方俗ヲヤト訓ス押淵へ東ニイタリ一里五

丁 正統百二十七石紀州田丸領ナリ 南ノ

海畔ニカハニ嶋アリ

大方竈 道行竈ノ東ニアリ 海瀕ニ民居ス正

税六石紀州田九領ナリ シト嶋 明曆中園人嶋ニ作ル

葦嶋 カモノ嶋 海中ニナリ 神鳳抄云内

宮大方御厨一石十二月今本邑名相似タルニ

批テ此ニ標ス未詳

道行竈 大江ヨリ山路坂ヲ十五町巽位ニアリ

大方竈ニ属セリ

阿曾 大方竈ノ西ニアリ海畔ニ民居ス 正税

三十石紀州田九領ナリ 阿曾浦 阿曾里ノ

二邑アリ浦ハ西ノ海崖ニ居ス里村ハ東ノ山

傍ニ居ス 阿曾浦ノ北海中ニ弁天島アリ嶋

中ニ弁天祠ヲ祀ル荒磯舟繋悪シ 又カイ

コ嶋アリ又猿煙山阿曾浦ノ南海崖ニアリ紀

州領主ヨリ置处ナリ 本郡神崎ニ舟行二里

半

鷓倉大歳神社 同处鷓倉山ノ山顛ニ旧墟了

リ俊世阿曾浦ニ天八王子祠域ニ在ス今存セ

リ倭姫命世紀所載鷓倉神戸神祇本源云鷓倉

神戸大歳社神宮雜話ニイカナル神何ナル処

ニ坐ス凡未詳ト載タリ今憶フニ此地ノ分野

ヲ詳ニ考索セサルニ批レリ 外宮神領目録

云阿曾浦當時御贄初鰹一掛名古一懸干鰹ニ

十島月五百文是鷓倉神戸ノ遺習ナルヘシ

相賀 大江ノ東ニアリ 海崖ニ民居ス 正統四

十一石紀州田丸領ナリ 南海ノ岬ニト、マリ

赤石ノ名アリ 或曰ト、マリハ磯浦ニ属スト

云非ナリ 荒磯舟ヲ繋リニ悪シ 本邑ノ東ニ

田曾浦ノ岬アリ 海ヲ隔テ相對セリ 舟行シテ

イタル海路直行一里 桂林寺 同処ニアリ 禪宗

祠賀寛 相賀ノ西ニアリ 海畔ニ居ス 正統三

石紀州田丸領ナリ

磯浦^{サハラ} 相賀ノ東ニアリ 海崖ニ民居ス 正統二

十一石紀州田丸領ナリ 八王子福本邑ノ西

山上ニアリ 御舟藏本邑ノ巽位ノ海畔ニ

木リ北ノ湾江海岸深ノ風濤ニ不拍深四五尋舟

ヲツナクニヨシ 神鳳抄佐々良御厨旧名佐

々良後ニ砥ノ字ニ作りタルナルヘシ 砂礫ヲ

サハレ石ト訓ス 小石ノ謂ナリ 又轉メサ、ヲ

ト名ク 追間^{オヒマ} 大江ノ良位ニアリ 正統百六十一石紀

州田丸領ナリ 此地南海ヨリ北へ曲湾シテ

山海ノ間ニ迫リタル地ナレハ名ク旧名追ノ

一字ヲ訓ス 神鳳抄ニ然リ 今追間ノ二字ニ作

本邑ノ西ニ曲湾アリ 海岸深七八尋 風濤ニ不

拍舟繋キヨシ 方俗フリヲト字ス 俚諺ニ中凸

ナル者ヲフリヲト称ス 此湾ノ形然リ 又本邑

礪浦ノ間ニ曲湾アリ三浦ト称ス深奥ノ処
ニ岸浅ク大船ハ泊リ難シ

中津濱 追間ノ東船越ノ巽位ニアリ 正税四

十石餘紀州田丸領ナリ中津濱ノ名義ハ五ヶ

所ト追間ノ中間海中ニ突出ス岬ナリ故名ク

飯満 五ヶ所ノ巽位ニアリ 正税九十五石紀

州田丸領ナリ

下津浦 飯満ノ東ニアリ 正税四十八石紀州

田丸領ナリ海崖荒ク舟繋取シ下津浦ハ中津

濱ニ相對ス名義ナリ 七日嶋乾位ノ海中ニ

アリ

木谷 下津浦ノ南ニアリ 正税四十石紀州田

丸領ナリ 乾位ツフヲ嶋海中ニアリ或ツ

ウ、嶋ニ訛ル 杉嶋同南ニアリ 杉ノ浦曲

湾ナリ同南ニアリ舟繋ヨシ東風ニ惡シ

宿浦 木谷ノ坤位ニアリ 正税八十四石紀州

田丸領ナリ 属邑竈アリ 方俗云宿浦ノ名

義ハ太神遷幸ノ時宿リ玉フ処故ニ名ツクト

今詳ニスルニ倭征命世紀ニ本郡滝原宮ニ到

リ奉祀ノ了ハ明ナリ此海瀕ニ住幸ノ了ナシ

妄誕ナリ然レ正本郡二見三津ノ南ニ宿嶋ト

云地アリ太神住幸ノ時停宿アリシ故ニ宿嶋

ト称ス或ハヤトリカ嶋ト云神祇百首度會元

長咏ル歌ヲ載ス後號三津村ノ條ニ詳ニセリ

此謂ヲ混合セシニヤ孰レ俗誕ナリ 本邑西
ノ岬ヲ市俗花園ト字ス此岬十四五間ハ工了
ノ荒磯ニメ舟繫忍シ ヲフノ浦本邑ノ乾位
ニアリ海崖深ク舟ヲツナグニヨシ南風ニハ
忍シ ヲタノ浦ユフノ浦ノ北ニアリ舟繫ヨ
シ 小原嶋本邑ノ乾位海中ニアリアマサ
キ嶋本邑ノ乾位海中ニアリ 茶臼島右ニ同
シ
田曾 宿浦ノ南ニアリ 正税二百五十石紀州
田九領ナリ 耆監舟番所アリ本邑ヲ東南ノ
岬ニ置リ蜜船及運漕ノ海船ヲ監スル処トリ
其東ニ狼煙山アリ 神崎及阿曾ニ相同シ

勝浦嶋本邑ノ乾位海中ニアリ 此処荒磯深七
八尋 雜記云神津佐マテノ間ト云非ナリ東
ノ海岸ニハ工アリ 海崎 ヒチカクニハ
ヲセマナク コタノ數名西ヨリ東ニ至リ崎
アリ 雜記オフセマナクニウコタテヒラ
カタニ作ル 本邑ヨリ志州英虞郡南張へ二
十五町 岡堀ナリ志勢二州ノ堀ニメ陸路ヲイ
タル 又本邑ヨリ乾位五ヶ所へ舟行シテ至
ル海路二里 又西位本郡阿曾浦へ舟行三里
同相賀へ舟行一里 志州英虞郡濱嶋へ東ニ
舟行メイタル海路二里
田曾竈 属邑ナリ 雜記所載相賀道方大方二

邑ヲ一組トス赤崎枋木二邑ヲ一組トス小方
棚橋新来以上六竈ト称ス今詳ニスルニ道方
ハ道行ノ訛ナリ田曾竈ナシ又云一竈塩五石
枋木四寸角八拾本鹿皮一枚ノ貢歟アリ今考
ルニ竈ト称ス村邑名貢田アリ然レハ是ノミ
非ス因云雜記第七卷尾ニ神島 桃取嶋
手薨嶋 波賀地濱 飯島 伊良仰島 小濱
篠嶋 亀嶋 酢戎嶋 飛幡嶋 等ヲ混合メ
本州地誌ニ標出ス神島桃取手薨嶋波賀地飯
島小濱亀嶋酢戎島飛幡津各志州ニ属セリ伊
良虞嶋ハ三州ニ属ス篠嶋ハ尾州ニ所有アリ
上世志州ハ本州ニ隸メ伊勢嶋ト称ストイヘ

に當今ヲ以テ輯録メ後人ノ惑ナカラントシ
欲ス尚其注解スル処モ各混淆妄誕ナリ今
詳ニスルニ近世刊行名所圖會等モ雜記ニ倣
テ志州本州及東西ヲ混メ注ス其實ヲ考索セ
ス紙墨ノ空譚ヲ傳フ故ナリ今彙攷メ涉獵シ
訂正ス此篇ニ拙テ差誤ナキヲ需ヘシ
神津佐 下津浦ノ北ニアリ 正統百四十九石
紀州田丸領ナリ方俗訛言メコニサト称ス神
鳳抄上津長御厨旧名上津長ナリ神厨ノ地ナ
ル故ニ神津佐ト轉セルナルヘシ
檜山 神津佐ヨリ良位一里十二町ニアリ山間
ニ民居ス 正統六十五石紀州田丸領ナリ

屬邑夏草 粟木廣新田アリ

山原 檜山ノ東三十町ニアリ山谷ノ間ニ民居

ス正税百八十五石紀州田九領ナリ志州

英虞郡筑地村志勢二州ノ界ニイタル十五町

十二間アリ

泉村 神津佐ノ西十九町ニアリ山林ニ傍テ居

ス正税百三十一石紀州田九領ナリ本邑ノ

東ニ一里塚アリ

五ヶ所 泉ヨリ西二十一町ニアリ陰ハ山谷ニ

傍ニ陽ハ海崖ニ傍テ民居ス正税四百八十

八石紀州田九領ナリ海底深六七尋風濤ニ

不拘舟繫ヨシ曲湾ニシテ海中ニ獅子鳴アリ

東海中ニ御所島アリ田曾浦ヨリ本邑ニテ二

里ノ入海ナリ此地ヨリ切原嶺ヲ登テ山路ヲ

本郡宇治ニ到リ隣比ノ諸嶋ノ漁氏毎日海碯

ヲ市麩ニ運ニ販ク街道ナリ切原越ト称ス村

民運漕ノ喉口ナルカ故ニ稍ク民居モ豊饒ナ

ルニ似リ

切原 五ヶ所ヨリ北十八町山間ニ民居ス

正税六百二十三石紀州田九領ナリ志州英虞

郡筑地山場ニ至二十二町十二間アリ小倉峠

ヲハテ一字郷床木ニイタル切原峠越ト称ス

本郡宇治ニ街道ナリ神鳳抄云切原御厨

切原村ヨリ五ヶ所ノ間本邑産社ノ前ヨリ川

ヲ涉リホウロク石三宝岩ナト云アリ
神引山飯盛寺 同処山上ニアリ真言宗本尊
觀世音紀州領主ヨリ高三石免許アリ 切原
峠右ニ飯盛寺道アリ茶店アリ峠ヲ越テ一字
郷床、木御堂野菖蒲村へイタル 水邑ヨリ山
上へ十八丁上ル又一宇郷床、水村ヨリモ上ル
十余町又觀音堂鐘樓アリ 五ヶ所切原ヨリ
東ノ山ニ入リ十五丁許ニ滝アリ高五尺許濶
晴雨ニ從テ上一尺下五尺位ニ落ル不動滝ト
云滝ノ左傍ニ不動堂アリ山上ニ古松一株ア
リ左右ニ巨岩並テ岩下ニ瀧ツボナリ瀧壺ニ
間四方許深三尺或七八尺

内瀬 船越ヨリ西一里六町ニアリ小山ニ傍テ
海崖ニ居ス 正税百四十一石紀州田九領十
リ方俗十イゼント訛ル 属邑白井アリ田曾
浦へ舟行メ海路一里半 海岸遠浅ニシテ船
ヲ入レス海南ニクテ嶋アリ
伊勢路 内瀬ヨリ乾位ニアリ山谷ニ傍テ民居
ス 正税四百八十二石紀州田九領ナリ 五
反垣内 二、谷 ク、リ道 マメ原等ノ属邑
アリ本郡一字郷横輪へ山路アリ馬坂ト称ス
伊勢路ノ各義ハ往昔志州ニ属スルカ故ニ本
州ニイタル道路ノ名ナリ本州ニシテ伊勢路
ノ謂アルヘキナシ伊賀州名張郡ニモアリ奥

此同シ

齊田 内瀬ヨリ西十八町ニアリ山間ニ民居ス

正税二百三十五石紀州田九領ナリ 本郡駒

ヶ野和井野へ山路アリ神坂峠越ト称ス

大歳社 同処ニアリ高二石八升三合領主ヨ

リ田印免許アリ

始神 齊田ヨリ坤位十七町ニアリ山岩ニ民居

ス 正税四十七石紀州田九領ナリ一本初神

ニ作ル 駒ヶ野中村へ山路アリ行程一里

押洲 始神ヨリ南十五町ニアリ山間ニ民居ス

正税百七十六石紀州田九領ナリ本郡大江浦

へ南ニイタルユト一里十五町 フク浦河内

初草河内 属邑アリ 神鳳抄云押洲御園

外宮神領目録ニ當時御贄米二斗麥二斗

中村 道方ヨリ北十八町ニアリ野見坂ヲ經テ

イタル 押洲ヨリハ西一里十五町ナリ 正税

三百五十二石紀州田九領ナリ方俗駒ヶ野中

村 称ス又中村川上ヨリ以北駒ヶ野ニイタ

リ總シテ一瀬谷ト名ク豊官河枝流ノ水源第

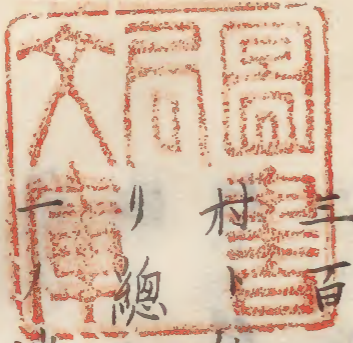
一瀬 湍ナルノ義ナリ川上ノ謂モ然リ 属邑

北垣外 日部 御杣アリ 神鳳抄云内宮一

瀬御園

鷓鴣石 本邑ヨリ西ノ山腹ニアリ脇出ニ属

ス奇嵩ナリ往昔ハ識ル者ナカリシニ貞享元



祿ノ間村民熊夫ノ輩此嵩下ニ到テ曰僚ト語
言スルニ忽嵩中ニ聲アリ其應スルヲ清濁委
曲ナリ山靈ノ態ナリトテ懼レ去ル而後瞻勇
ノ者屢往テ試ルニ此嵩ニ應スルヲ明ニ探
得テ其怪ナラサルヲ知リ隣邑ヨリ傳聞ノ來
觀スルヲ夥シ物言ヒ石ト稱セシカ既他邦ニ
知リ聞ヘテ京擾ノ游客騷人コシヲ索リ憇ヒ
何ナル輕薄生ノ名ケシニヤ享保年間ヨリ鸚
鵒石ト稱シ其傳聞愈々廣播メ享保十五年伊
藤東涯先生此ニ來游メ文ヲ巧詩ヲ賦セシヲ
妾原菅原長義卿ノ奉ヲ得テ詩記ヲ
ノ觀覽ニ備ヘ 靈元帝画工山本宗仙ニ勅メ

屏風ニ画圖ニ模サシメ玉ヒ其序ヲ東涯ニ書
シムヨリ士庶及傀儡竹田出雲椽又機関ニ巧
ニ坊間ニ看觀セシムヨリ其名海内ニ普ク識
ルニ及ヘリ事ハ輜軒小録及勢遊記等ニ詳ナ
リ 本朝奇跡談云志广州鳥羽領惠利原村新
島村此ニケ村ニ鸚鵒石アリ此石ニムカヒテ
謠ヲウタヒ淨瑠璃ヲカタリ三味線ヲヒキ其
外物ノ音言語マテ彼石ニヒキテ其言語ヲ
ナス下偏ニ鸚鵒ノ如クナリ此外勢州宮河ノ
上野カ野村ト云処ニモアナム石アリ珍奇ナ
ク唐ニテ響石ト云由トシタリ今詳ニ不
ルニ所謂鸚鵒石ハ本邑ノ押位山中ニアリ山

ニ傍テ偃臥ノ其高十餘丈蒼黑色ナリ其右傍
二百歩許ヲ隔テ徑席ヲ設ケ一車嵩上ニ坐メ
彼大嵩ニ向テ此處ヲ方俗カケ石ト稱ス其巨
嵩ニ對メ言語或弦歌鼓吹スルニ石中ニ人ヲ
リテ相答フルカ如シ然レモ尋常ノコトマハ
其聲不聲ト同ク答フ此嵩ハ弦歌鼓吹ノ響畢
リテ餘音ヲ發ス故ニ其韻甚鮮明ナリ一奇ト
ス前ニ謂フ志州ニ産ス處ハ同音ニ發ス故ニ
其声喧クキクニ堪ヘス然レモ孰レモ笛簫ノ
声ハ應セス其律ニ協サルナルヘシ又志州
谷志郡安樂嶋ノ海傍ノ奇嵩ニ此類ニ同ク其
響ノ應スルアリ然レモ領ノ世ニ多ク類ナリ

トテ當今ハ觀人モ絶タリ又同州同郡惠利原
村ノ山傍ニ同類ノ嵩石アリ其声ハ應スルモ
粗相似タリ方俗同音石ト稱ス是ハ京攝及諸
州ノ客伊雜宮ニ詣スル衢ニアリ故ニ稍ク賞
スルニ及ヘリ孰レ享保十六年ヨリ以徃本邑
ノ鸚鵡石ノ世ニ聞ヘタルヨリ其聲ニ効ヒテ
詣客ニ誇シカ爲ニ設ケル處ナリ其餘越前州
敦賀浦常宮山一名サビヒカ岳ノ山腹廿八町
登臨ノ巨石アリ高十三間濶二十間其石ヲ隔
テ十五六間ノ地ニ座メ言語鼓吹ス其響ノ應
スルト上ノ如シ土俗言葉石ト稱ス天明年間
ヨリ二十年前ニ樵夫ノ始テ怪ニ聞シヨリ世

二傳フニ至ルト東遊記前編ニ載タリ其餘他
州ニ未^レ聞^レヲ得ス既ニ本州所載鸚鵡石ハ百
有餘年ニ幸^クタリ猶其音韻ノ發明ナルモ殊
ニ勝^レリ海内第一ト賞スヘシ
晋書劉曜傳
云石言於陝^ニ又前漢書師曠傳云昭公八年春
石言晋平公問師曠荅曰不能言神或憑焉又
云神代卷曰芦原中国者磐根水株草木猶能言
語云云
今ノ崑石ハ洽聞記ノ響石ニ同シ石
鐘ハ又一奇品也本邦近江州其餘往々アル処
ノ物ニ似タリ鼓中則ハ響ヲ生スコレト同シ
カラス猶神代磐根草木ノ言語ヲモ其謂
アリ敢テ音韻ノ發スルニ非ス各其見解ヲ明ム

ヘシ本邑此地ニ過客諸人等ノ宮河ヲ遊リテ
春月多看觀スルニ河口ニ舟行三里ニ至
ル河口ハ豊宮川ノ大杉谷ト野尻駒ヶ野ハ瀨
谷ヨリ流ル落合ノ処ナリ河口ヨリ三里本邑
ニ至ル總メ行程山田ヨリ八里ニメ至ル又歸
途ニ宮河ヲ舟行メ下シハ駒野ヨリ直下急湍
ヲ經テ甚捷徑ナリ河旁双岸奇石怪岩聳ヘテ
春時ハ杜鵑花爛熳トメ壯觀ナル地ナリ載酒
擊筑且歌且嘯テ一日ノ歡樂ヲ窮ムルニ足
リ
一瀨御所旧墟 天正三乙亥年田丸城主中務少
輔具直本郡岩出城ニ移リ住ス後織田信雄命

又具直ヲ一ノ瀬ニ迂ス一瀬御所ト称ス其
男具良ニ至テ位ス真善院系圖ニ載タリ此時
北畠大御所具教入道不智ハ多氣郡三瀬ニ移
シ住ス故ニ世俗三瀬御所ト称セリ其事實ハ
伊勢軍記ニ詳ニセリ吉野日記云中卷建武四
年四月五日尊氏細川和氏ヲメ公家領ヲ貶ス
尊澄親王勢州一ノ瀬山ノ奥ニテ咏ス

今誓フルニ足利尊氏將軍令ニテ尊澄法親王
妙法院宮ヲ本州ニ謫セシム南朝又貶ニテ然
ラシムトコロナリ其旧址今詳ニテス後誓ヲ
マツモノナリ

脇出 中村ヨリ北廿三町ニアリ 正統百九十年

七石紀州田丸領ナリ一瀬谷中村ニ分置ノ義
ニシテ脇出ト称セリ本邑ニ脇出殿屋敷ト
俗称ス山谷アリ今誓ルニ北畠家ノ麾下白井
將監某此地ニ弟宅ヲ構ヘタルカ国司亡滅ノ
後織田信雄ノ令ニ拠テ三瀬左京進等ヲウツ
同時ニ瘞セリ其裔今慥柄浦大里正白井某
ノ祖ナリ物換星移リ今ニイタリ陰雨蕭々夕
ル暗夜ハ數百人鬪争ノ声刀劔ヲ相撃ノ音喧
シ土俗往々聞テ拠テ怛トシテ敢テ怪トセス

市場 脇出ヨリ北一町ニアリ 正統八十三石

紀州田丸領ナリ一里塚アリ

柳村市場ヨリ六丁北ニアリ 正統八十石紀

州田丸領ナリ 属邑白井河ノ東ニアリ

和井野市場ヨリ東一瀬川ノ白ニアリ有田へ

山越了リ神坂嶺ト云 正統五百四十石田丸

領ナリ 属邑野谷河内了リ 曰ト和比野ニ

作ルワビ野ト訓ス 倭祖命世紀云其時自大

河乃南道宮所見ル幸行ハ美野ル到給 且宮所

乎見他給 比互其所乎 和比野止号支 天照大

御神滝原ヨリ大河ノ南ハ豊宮川ニメ岩内古

里藤村川上等ノ路ヲ歴テ一瀬谷ニ至リ玉口

野見坂中村脇出和井野ト順次ニ経テ其

久具ニイタリ玉ヲナルヘシ今多氣郡界大

ノ南ニ金輪野原麻加江田間久具ノ徑路了リ

トイヘ尺野見坂和井野ノ順途ニ了ラズ詳ニ

地圖ヲ一囑ノ誓ヘシ前號所謂中村ノ南ニ道

方浦ノ間ニ山アリ往還一里餘野見坂ト号ス

古老云大神滝原ヲ出テ近幸ノ時倭姫命此坂

ヨリ野ヲ看臨王ヲ故ノ名ナリ今ノ一瀬谷ノ

五邑ハ往昔ハ皆曠野ナリト 今誓ルニ野尻

ヨリ川上ニイタリ各山谷連リ稍ク此ニ到リ

廣潤ノ地ニメ野見坂ノ嶽ニ登臨スルニ眼下

和井野了リ其東ニ久其神園佐八次第ニ相

隣比ス地形行程實ニ能ク称ヘリ 中村脇出

市場柳村和井野五邑ヲ一、頼谷ト称ス
川上 賜出ノ坤位山中ニアリ 正統八十石
紀州田丸領ナリ川上ノ名義ハ宮河ノ派流ノ
水源ナルカ故ニ名クヨレヨリ一瀬ニイタル
岩第一ノ原ナルカ称ナリ
藤村 川上ノ乾位ニアリ 正統二百五十石
紀州田丸領ナリ 南藤村本邑ノ南河向ニアリ
藤木小屋南藤村ヨリ五丁東ニアリ 又
板取新田等ノ属邑アリ 本邑或ハ北藤村凡
松不明曆地圖ニ南藤村トシ明曆年中後ニ所
置ナルヘシ 總テ多氣度會郡此隣北ニ其水
屋ト称スル多シ所謂新田別名一色等ヲ云々

ニ從テ名ヲ異ニスルナリ此地ハ連山環濠ニ
メ田畠耕耘ノ地少シ故ニ樵夫ノ言ニ從テ其
木屋ト称スルナルヘシ木屋モコヤト訓ス樵
薪伐材ヲ積ル地モ木場ト充テコハト訓セリ
古里 藤村ノ西十八町ニアリ此間川アリ 正
統二百六十三石紀州田丸領ナリ 八ヶ野
若瀬属邑本邑ノ河東ニアリ本邑ヨリ野尻ヘ
一里一里塚其間ニアリ
阿曾 野尻ノ南二里ニアリ 正統六百十四石
紀州田丸領ナリ 河南阿曾河北阿曾二邑アリ
河南ハ本邑ナリ 属邑滝部新田 藤ヶ野
新田 銀治、瀬新田等アリ 本郡阿曾浦同名

アリ此地ハ上聲ニ訓メ分チ祢セリ 近世領
主ヨリ石炭山ヲ許セラル梢ク石礦ヲ燒テ貨
ル多ク出ス

阿曾城址 同処ニアリ 大内山但馬守居セリ

野尻 阿曾ノ北東二里ニアリ 三瀬川ヨリ南一

里 正税百四十石 紀州田九領十リ 内宮御朱

印ノ内四百五十石 滝原宮並宮神領十リ 本

邑ヨリ里村ト祢ス 属邑岩内本邑ヨリ一里南

ニアリ 旧名滝ヶ原今轉メ野尻ト祢セリ

勢陽五鈴遺響度會郡卷之一終

勢陽五鈴遺響度會郡卷之二

滝原宮 野尻ニアリ 祭神速秋津彦命 方俗

野尻大神ト祢ス 内宮七處別宮ノ其三也

山田ヨリ八里坤位御瀬社ヨリ一里 倭姫命

世紀云活目入彦五十狹茅天皇廿五年丙辰春

三月中畧從其所指河上幸行 江波 破流速瀬有

支于時真奈胡神參相度奉支其瀬子真奈胡御

瀬止号互御瀬神社乎定給支從其所幸行奈利

美地亦到給奴真奈胡神亦汝國名何問給支大

河乃滝原乃國止蒼白支其所宇太乃大字祢奈

神乎為互荒草乎令新掃 天宮造而令坐互此地

波皇大神欲給地亦波不有悟支其時自大河乃
南道官所乎覓尔幸行尔美野尔到給互官所乎
覓伦給此互其所乎知比野止号支前號多氣
郡相鹿瀬及三瀬ヨリコノ地ニ到リ河南ノ道
ヲ經テ和井野久具ニ到玉ノ次第ノ路程ナリ
此時倭姫命ノ定祀ニノ大神行宮ノ地ナリ
延喜神祇式云滝原宮一座大神遙宮在伊勢与
志摩境山中右大神宮西九十里滝原宮裝束野
延曆儀式帳云在伊勢志摩兩国境大山中大神
宮以西相去九十二里称天照大神遙宮 神祇
本原元々集神名祕書等ハ延喜式ニ相同ニ
今據ニ延喜式云右大神宮西九十里儀式帳以

伊藤東

西相去九十二里既ニ二里ノ差アリ
涯度量衡考云古里法古者六尺為一步三百步
為一里 秦漢六朝古里程法ヲ以テ量ルニ一
里當曲尺三町四十間一尺九寸十里ハ當一里
四十二間六尺九十里ト載ル也今九里六町
二十六間三尺六寸ニ當リ又唐里程法ヲ以
テ量ルニ以大尺五尺為步以三百六十步為里
ト云一里ハ當曲尺四丁三十五間強十里當一
里九町五十一間強此ニ拠テ九十里ヲ約スル
ニ今十一里十六町三十九間強ニ當リ各東
路三十六町ヲ一里トス 内宮ヨリ本郡野尻
ニ至リ里程唐ノ法ニ相同ニ内宮一島居ヨリ

豊宮川東岸ニ至リ六十五丁五十七間東岸ヨ
リ大倉村ニ至リ廿二丁十間佐八村ニ至リ十
三町八間岩出村十六町葛原村廿五丁太野木
五丁棚橋廿丁牧戸六丁平尾七丁大久保五丁
立園廿丁鏡川五丁長原十六町東相鹿瀬廿丁
西相鹿瀬三丁子代五丁柳原二丁神瀬四丁
下楠十五丁上楠三丁粟生八丁奈良井三丁下
三瀬三丁大町三瀬川十八丁野尻ノ三十六丁
惣計四百十四丁七十五間此里程十一里十九
丁十五間是佐八村ヨリ至ル古路程ナリ今田
丸ヨリ至ル路程ハ稍ク前ニ差ハリ内宮ヨ
リ豊宮川東岸ニ至リ六十五丁五十七間東岸

ニ至リ三十六丁野篠邑廿丁牧野十五町野中
十九丁東相鹿瀬ニ至リ三十六丁東相鹿ヨリ
野尻ニ至ル百六十九丁前ニ同シ惣計三百六
十町五十七間此里程十里五十七間是後世ノ
街道ニメ古路ニ非ス前程法ニ拠レハ一里十
三丁十八間通メ異ナリ猶延暦儀式帳ニ九十
二里ト載ス片ハ今ノ十一里十九丁十五間ヨ
リ遠ニメ田丸街道ヨリ遠シトスハ然ル片
ハ延喜式ニ拠ルモ佐八ヨリ至ル古路ニ從フ
ハキト謂ハシ其古跡ニ從フ片ハ今十一里十
九丁十五間ト云ハ唐法九十里ニ相當ス總テ
皇朝律令制度及官職唐典ニ拠テ法ヲ定ム例

十リ然ル中ハ此ニ必セリト惟フヘシ儀式帳
ハ旧典ニ差異アリ強テ従フニ難シ延喜式ヲ
徴トスヘキナリ或云上世本州ハ志摩州ト境
ヲ混ス故ニ大神宮以西相去九十二里ト云ハ
志摩ヨリ至ル路程ニメ其志摩ト指スハ今ノ
慶會郡慥柄阿曾浦等ナリ然ル中ハ内宮ヨリ
切原五十所舟越内瀬赤田始神中村ヨリ河上
藤村古里神原ニ白瀬長箇三瀬野尻ニ至リ大
約十二里八町ニ及ヘリ是延喜式及延暦儀式
帳ニ境山中ニ在スト云ニ徴トメ此路程ヲ九
十二里ト載ルニ相合スト云今詳ニスルニ内宮
ヨリ切原ニ至リ其余野尻ニ至ルハ各海涯ノ
僻地山谷ト幽遠ニシテ上世ニ村邑及境原宮
ノ諸スヘキ路ニアラス其地而国境山中ニ在
スノ洋ニ拠テ惑説ヲ設ク処ナリ非トスヘシ
猶伊勢志摩境及伊勢志摩兩國境ト式文ニ
載スト云ヘ氏今ハ詳ナリ難シトス日本持統
記云六年三月壬午賜所過神郡及伊賀伊勢志
摩国造等冠位並免今年調役甲申賜所過志摩
百姓男女八十以上土稻人五十束云云是ヲ以テ
考ヘシ持統天皇即位六年三月紀伊州牟婁郡
錦嶋ヨリ本州ニイタリ大神宮ニ行幸メ伊賀
ヲ經テ還駕アル処ヲ順路ニメ今ノ志摩州ニ
行幸ノ例ナシ万葉集ニ載タリ然ル中ハ此地

ヲ志摩ト指ス徵ナリ既ニ足利義滿將軍東海
遊覽ノ片紀州ヨリ此ニ至リ東街道ヲ歴テ歸
京ナリ續大平記ニ詳ナリ今本州ニイタルニ
志廣州ヲ經スナシ又倭姫世紀ニ志摩国鷲倉
愼栢神戸既ニ愼栢ハ今本州ニ隸セリコレニ
拠テ考ルニ延喜延曆中ニ至リ此滝原宮ハ志
摩州ト本州ノ境山中ニ在下スハ今ノ海南ノ
地上世ハ志摩州ノ有ナルヲ知ヘシ然レトモ
滝原ハ旧ヨリ本州ニ隸属ス処トイフヘシ
倭姫命世紀ニ滝原宮一座天御形鏡坐水戸神
名連秋津彦神是也 大田命傳記云伊弉諾伊
弉册尊所生何神名水戸神 延喜式云滝原宮

一座速秋津彦命大月次新嘗云云 神宮名所
集云神宝日出秘府云瀧原神猿田彦所化ノ具
石為正体也三尊座也龍神應寢也白瀧上ノ
名是也 度會延經神名帳考證云瀧原宮 大月次新
嘗速秋津彦命在伊勢與志摩境山中瀧原村 今
野尻去大神宮西九十里 傷式帳云神宮四至南
村 瀧原宮東西遙隔 志摩国鷲倉錦山坂
為山堺今此地至南海濱 属度會郡是以志摩国
与瀧原宮東西遙隔
度會正身神名帳再考證云滝原宮此帳別宮ノ
内滝原並宮伊雜宮風日祈宮ナシ風日祈宮此
氏イニ夕宮号授ナシ大神或ハ荒祭宮伊佐
奈岐宮月讀宮滝原宮並宮伊雜宮以上六所ヲ
ツ子瀧原宮同並宮伊雜宮三处ノ下ニ皆大

神宮ノ遙宮ト注ス且其文ニ云古諸別宮祈年
月次神嘗祭供之就中滝原並宮伊雜宮不預月
次ト此二宮ハ遙宮ニヘニ帳ニモ不載月次祭
ニモ不預余ノ別宮ノ列ヲ闕シナルヘシ然ル
ニ瀧原ノ宮ハ此帳ニ載タレハ決ノ大神式ノ
滝原宮ノ下ノ注ニ大神遙宮ノ四字ハ衍文ナ
リ世紀ニ吳地到給奴真奈胡神ハ同名何問給
支大河之滝原之田上白支其処宇太之大字称
奈乎为天荒草令荊掃 天宮造令生支此地波皇
大神之欲給地ハ波不有悟給支トアリハ並宮
ノ了ニテ大神ノ宮所トナリシ其跡ヲ遙宮ト
シテ系レリ然ラハ遙宮ハ後天子ノ離宮ノ云

ニ同ク別ニ神体マシマサル故ニ月次ニ預
ク不帳ニ不載格一等ヲナセルニヨリテ世紀
ノ云処ハ滝原ノ並宮ナルヲ知レリ其同ニ格
ナル伊雜宮モ世紀ヲ考ルニ倭姫命真郡鶴ノ
クハエモチシ本ハ一基ニテ末ハ千穂ニ茂レ
ル縹ヲモテ伊佐波登美神ニ按總ヲメカシメ
大幡主ノ女乙姫ニ清酒令作御饌奉支トアリ
テ遙ニ大神ヲ祭ル宮也此遙宮ニアラサル滝
原宮ニ祀ル処ハ伊佐奈伎尊月詭尊ニ並ヒ玉
フヘキ尊神ナルヘシト云ヘト今考ル処ナ
姑リ五部秘記等ニ拠リテ速開津日子命ト定
ム是ハ日本紀上卷ニ出テ川流ニ生ス無形ノ

神ナリ御名ノ日ハ極ニテ水道ヲ云其地ニ飛
瀑急流アルハ其神ヲ祀タルモサエ有ヘシ況
ヤ川流ノ穀田ヲ養フ其德極リナキヲ又曰
傳記荒祭ノ下ニ小眉ノ瀨織津姫ト云是荒魂
ニ非ルヲ誤リシトハ上ニ身ス顧フニ別宮ニ
祀ル神名ハ古ヨリ口ツカウ傳ヘタルハ後ニ
其宮ヲ誤リ荒祭ノ下ヘ記シタカヘルニテ其
實ハ此滝原宮則瀨織津姫ナラシ中臣詞ニ速
河ノ瀨ニ坐トアルニ此地滝多ク速川ノ瀨ナ
リ此説モ拙有ニ似タリ瀨織津姫ハ八十柱津
日神ニテ川ノ上流ノ左右ヘ屈曲スル名ナレ
ハ間津日ト相述シタリ川源ト中流ノワカチ
ノニ云云 滝原宮神宝紛失ノ丁神宮雜事記
貞觀十八年三月六日條ニ載ス 滝原宮焼亡
ノ丁同卷貞觀十三年三月八日條ニ載ス 滝原
宮神宝紛失ニヨリテ諸星東行又日蝕闇夜ノ
コトキ丁同卷仁和三年正月十日條ニ載ス
滝原宮神館修行僧寄宿頓滅ノ丁同卷延喜十
七年四月十三日條ニ載ス 瀧原宮御装束色
日曆進丁同卷宝龜元年十二月廿一日條ニ載
ス 滝原宮神封祭記再興ノ丁ハ神宮古今名
所集ニ載ス

並宮 同处東ハ滝原宮西ハ並宮同城ニ並ニ坐
ス故ニ並宮ト称ス 祭神速杵津姫命 倭姫

命世紀云並宮一座吳御初鏡生速秋津彦妹速

秋津比賣神是也此二神因河海特別而生神ハ

柱是也大田命傳延喜式曰滝原並宮一座大

神遙宮在滝原宮地内 延曆儀式帳云並宮一

院正殿一區長一丈五尺弘一丈一尺高八尺下畧

神 秘書云文永六年十月十二日滝原並宮事

被下院宜被尋問本宮之処坐跡之本儀不實知

夫水 荒木田延季

白糸比賣乃為之游の系於これより後世預ぬらん

全 西行

全 滝原宮の系於これより後世預ぬらん

全 滝原宮の系於これより後世預ぬらん

今詳ニスルニ度會清在滝原ノ号ハ年中行事

云滝原宮ノ詔カニ度會ノ河上ノ滝原ノ邑下

津岩根ニ宮柱太敷立ト云ハ此地名ニ由テ

宮号ナル丁明ナリ本社ノ西南ノ山中ニ四十

八処瀑布多シ野後ト云ハ倭姫世紀ニ御近幸

ノ旧地和比野ノ北ニ當リ南面ヲ主トノ北面

ヲ後ニスルノ謂ナリ又雜記神室日出秘府引

云滝原神藤田彦所化ノ吳名爲正體也是三尊

坐也雷神ノ應慶也白瀧上名是也此書ハ信ス

ルニタラスト云ハ氏暫ク其徵ニ工ニ載ス

又滝原ハ年中行事詔カ文云度會川上滝ノ原

邑ノ下津岩根ニ大宮柱大敷立ト云ヘルニ世
紀ノ大河之滝原國止白支ノ文ニ批テ敢テ瀑
布ノ謂ニ非ス大河ハ豊宮川ノ水源ノ三瀨川
ナリ其河傍曠原ノ謂ニノ後人其瀑布ヲ適ニ
牽強附會スル処ナリ

河嶋社 長界社 若宮 此三社滝原宮ノ域内

ニアリ内宮年中行事ニ名ノ載テ旧録ニ本
見処ナリ 本社祭記ハ正月十五日六月廿二
日九月廿三日三節祭禮アリ 今詳ニスルニ
雜記拾遺多氣原神社又背書同誌祭神夫御中
主命天兒屋根命或ハ滝原大神宮ト録ス各非
ナリ大神ノ名ハ其徒ノ私編スルニ批テ方俗

誇リ編スルニ一ニ所皇太神宮ノ外ニ餘社

ニ名ツルナシ況ヤ大神宮ノ別宮タル滝原及

伊雜宮ニ其號アルヘカラス

神原 古里ノ北ニアリ 正統八十三石紀州田

丸領ナリ 属邑安草新田 本邑野添ノ間一

里塚アリ飯高郡同名アリ多氣郡高瀬ヘ舟涉

宮河ヲ渡ス

金輪 神原ノ東ニアリ藤村ヨリ一里 正統九

十一石紀州田丸領ナリ 属邑櫃井原本邑ノ

西ニアリ

打見 金輪ノ北ニアリ多氣郡下楠ヨリ十一町

三瀨川ノ南ニアリ多氣郡柳原ニ至ル 正統

百三石紀州田九領ナリ 屬邑相原アリ

野添 金輪ノ良位ニアリ 正統三百十四石

紀州田九領ナリ 屬邑又々原新田アリ

野原 野添ノ東ニアリ 正統六百二十四石

紀州田九領ナリ

黒坂 野原ノ東ニアリ 正統二百八石紀州田

九領ナリ

注連指 黒坂ノ巽位ニアリ 正統四百十四石

紀州田九領ナリ

田口 黒坂ノ東ニアリ 正統四百四十六石

紀州田九領ナリ

麻加江 田口ノ東ニアリ 正統三百六十四石

紀州田九領ナリ多氣郡西相鹿瀨へ二十八町

同郡長原新田へ十一町 神鳳抄云麻加江御

菌

坂井 麻加江ノ東ニアリ 正統百一石紀州田

九領ナリ多氣郡東相鹿瀨へ廿町

長原 坂井ノ南ニアリ 正統五百四十二石

紀州田九領ナリ 屬邑立花 本邑ノ河西ニ

アリ麻加江ヨリ十一町 明曆中地圖ニ永原

ト載ス 神鳳抄云内宮立花御菌

長命寺 同処ニアリ禪宗

當津 長原ノ河南十六町ニアリ 正統六十一

石紀州田九領ナリ

田間 當津ヨリ二十町東ニアリ 正統百六十

三石紀州田丸領ナリ

上久具 田間ヨリ六町巽位ニアリ 城田郷ニ屬

ス 正統三百廿石紀州田丸領ナリ 屬邑

家野了リ本邑ノ南ニアリ 或中久具ト稱ス

下久具 上久具ヨリ六町東ニアリ 城田郷ニ屬

ス 正統二百三十石紀州田丸領ナリ 屬邑

羽根 山川アリ 神風抄云久具御厨 久具

ノ名義ハ久具都比賣神社ノ名ニ拠リテ假音

ニテ今久具ト稱ス

式内久具都比賣神社 同処大河ノ崖ニアリ

祭神久具都比賣命久具都比古命 倭姫命世

記云活目入彦五十狹弟天皇廿五年丙辰三月

從其所幸行ニ久具都比賣神參相 支汝同名何問

給支白支久具都比賣神 止谷白久倭姫命詔久具御宮

所乎久具都比賣神ニ号給 且其處ニ久具神社ト定

給尔時久具都比賣神白久具 吉大宮所有ニ白支

延曆義式帳云久具社一処 紘大水上神御子久

久者比古命又久具都比古形石坐倭姫内親王

定祝 正殿三宇長四尺弘三尺高大尺 下畧

元々集社記云在城田郷久具村前社大水上神

子久々都比古命又久々都比古 神名秘書同

上 寛文樓社再興記云寛文三年九月二日三

日城田郷久具村ニ坐ス久具都比賣社是ハ上

久具村ノ三四町良ノ方下久具村ヨリ五町程
西ノ方三十間四方モ有之社地ナリ東西畠地
北ハ大門ナリ南ヨリ北へ溝河アリ社ノ良ノ
方ニ大神宮ノ鬚水入レト申傳へ有之池アリ
東西ノ長サ六七尺南北三四間アリ宮川ノ端
ナリ此池ハイカナル旱魃ニモ不絶又池ノ内
ニ少モ魚住ムトナレト祝部六左工門モノ
リナリ又云宮立九月八日久具社五尺三尺
五寸又云九月十二日久具村ノ社迁宮ナリ儀
式次第右同前祝部六左工門方ニ一宿無之久
具村迁宮畢リテ舟ニテ佐八村へ着其夜迁宮
終リ神事場ヨリ直ニ傳馬人足出サセ大司へ

下向 寛文三年大宮月精長再興ノ記録ナリ
儀式帳所載ニ畧ノ奥行五尺ツマ三尺五寸十
リ大社小社ノ寸尺及再興ノ神社左ニ列ス後
號準之

同記云 内外宮諸摂社奉建立覚

- 一由き六尺一ツマ四尺 一高ナリ下ヨリ四尺一寸
- 一由り三尺土入二尺 一柱七十俱九柱
- 一ナケレ四寸三分 一ハリ六寸四分二分
- 一けくくちマキテ四寸一分下方四寸
- 一字立サ寸有一棟持柱七寸五分土入二尺
- 一字立ぬき厚二寸幅四寸五分一丁三寸三分五分
- 二本但ぬき 一石子板一寸八分出かろくふき

但めノ板ノ五寸五寸、雨をけりノ溝有一枚あり
一ささめ板二寸幅一尺一寸 一十木かつを木あり
目むちうけり、一あゆひの板くちこきま二寸幅一尺一寸
五分 一ぬき幅四十あじさ二寸 一さらの板厚
一寸とく二寸 一カへ板厚サ八分 一まへ幅一尺
二厚サ二寸ノエニ有 一戸ひの板厚一寸五分を
ら立三寸五分ニ二寸六分、木三寸五分ニ一寸
二分

同 小宮作り覺 一かき五尺 一つま三尺五寸
一ささり下ヨリ三尺八寸あきよを出さく二
尺七寸土入二尺 一柱六寸九柱ナリ 一ナケレ
三寸六分ニハリ五寸ニ四寸 一けさちこきあて

四寸二分下ハ三寸六分 一字立ヌキ厚二寸ハ、四寸
五分一丁三寸ニ三寸五分二本 一字のりさすアリ
一棟持柱六寸五分土入同九柱 一ヤ筋板一寸八分
出カハウフキ一枚フキ 一ささの板二寸幅一尺一寸
一あゆひの板くちこきあて三寸とく一尺一寸五分
一干木鯉水アリムチカケ有、一ヌキとく二十六分厚一
寸六分 一さら板厚一寸とく、二寸六分 一カへ板
八分 一マへ幅一尺厚二寸 有 一戸ヒラ板
厚一寸三分とく立三寸五分ニ二寸五分ちや
木三寸五分ニ一寸二分
猿頭御門 一ささ六尺 一ささ八尺板ケタ下
一ささ七寸五分但九柱 一ささ七寸五分三寸二分

一や中五寸二寸但くちさきニテ上下十寸 四寸五分
 一内のりぬき六寸二寸二分 一けえなり二寸二分六寸五分
 一もろくえ四寸厚二寸六分 一戸ヒラ板厚一寸六分
 一ありらの出入三尺但しカセアリ
 再奥内宮廿四社 朝熊社 園相社 鴨社
 田ノ家社 蚊野社 湯田社 大土御組社
 国津御祖社 朽羅社 伊佐奈弥社 津長社
 大水社 大國玉比賣社 江神社 神前社
 粟皇子社 久具都比賣社 奈良波良社
 棒原社 御船社 坂手国生社 狭田国生社
 多岐原社 河原社
 外宮十六社 月夜見社 宮號ノ後除之

草名位社 大間国生社 度會国御神社
 度會大國玉比賣社 田上大水社 志等美社
 大河内社 清野井庭社 高河原社 河原大
 社 河原淵社 山未社 宇須ノ野社 小保
 社 御饗社 以上三十九社
 度會延賢攝社参詣記云久具都姫神社二座大
 水上神子久久都比女命久久都比古命ト云へ
 リ城田郷久具邑多河ノ南岸上ニアリ或説ニ
 云久具ハ水具ニテ菊理媛神ト同神ナリ久具
 都比古ハ水祖白々廻馳ナリト決セリ世紀ニ
 載タル御遷幸ノ片久求都彦参相久求ノ小野
 ニ久求社ニ定玉ヲナレハ神代ニ沙汰セシ白

々廻馳トリト決定セルハ奈何ソヤ大神部類
ノ神ノ名云シトテ辻幸ノ道路処々へ参相ト
ハ云ナリトノ説ハアレハ是又信用シカタシ
然ラハ幸行ノ時処々ニ参相クル神アリト載
タル神記ノ文虚妄ナルヘシ云云 度會延經
神名帳考證云久々都比賣神社久々都比女命
久々都比古命日本紀云菊理媛神在坂田郷久
具村宮川川上也 度會正身神名再考證云久
々津比賣神社久々又久求氏ニ世記ノ假字ニ
テ地名ナリ津ハ伊勢津彦神五留津姫ノ類ニ
テ地名ニ津ノ字ヲ付テ呼ノ例ナリ賣當作古
世紀ニ久々津彦命参相氏トアリ是モ御經行

ノ地前ノ例ナリ云云 今詳ニスルニ延經考
證ニ久々都比賣神社ノ名ニ拠リ久々都比女
久々都比古命ヲ祭ルトスルハ旧典モ処リ日
本紀ヲ引テ久々都比女ハ即菊理媛神ニ同シ
ト云ノ言ナリ正身再考證ハ久々都比ハ久求ニ
津ノ字ヲ加ヘテ例ナリ猶久々都比賣神社ト
云ハ式ノ傳誤ニメ比古ニ作ルヘシ其故ハ倭
姫命世紀ニ久々津彦命大神辻幸ニ参相シ神
ナレハナリト云解ナリ愚按ニ延經考證ニ倭
姫命世紀ニ拠テ久々都比古久々都比女命ヲ
定祀スルト云ニ從ヘリ其故ハ大神辻幸ノ地
ニノ滝原ヨリ和比野ニイタリ次第ニ此地ニ

近幸ノ久求都彦神参り會テ久求社ヲ定祀ス
ル処ナリト記ス件ハ再考證ニ云カ如ク久々
都比古命ヲ祀ル処ニメ社号ニ此ニ拠ヘキニ
其久々都比賣ト式ニ載云ルハ誤ナルヘシ比
古ニ作ル佳ナリト云ハ是トスヘシ延喜式ニ
久々ニ作ル倭姫世紀ニ久求ニ填ル今久具ト
昏ス各音ハ相同シ然レモ久求ヲ曰トスヘシ
其名義ハ世記ニ御宮所乎久求小野止号結止
アルハ大神ヲ宮地ヲ此ニ久々求覓ムト云意
ニ拠ラ久々都比古ニ答テ其原野ヲ久求小野
ト名ケ其処ニ此社ヲ定ムト云件ハ曰ヨリ久
々都彦比賣ノ名ハ了リテ此時ニ久求ノ字ヲ

設ルノ起原ニ聞ヘタリ孰レ旧各ハ久求ノ云
義ハ上ノ如シ又之久都比賣神社及ト称スル
ノ故ハ内宮儀式帳ニ久具社一処祢大水神
子久々都比女命又久々都比古云々ト載ル件
ハ其比賣ヲ上ニ置ルカ故ニ其餘神名秘書元
々集社記等ニ此ニ同轍ナリ今久具ト云ハ儀
式帳神名秘書元々集神鳳抄等ニ久具社城田
御久具村前社久具御厨ト云ニ拠レリ勢陽雜
記城田郷久具邑ニアリ拾遺是ニ從ヘリ久具
トクニハ妄ナリ古昔ハ上下ノ別ナリ称セシ
ナルヘシ今下久具ニアリ考證ニ日本紀ヲ引
徴メ菊理媛命ヲ久々都比賣命ニ訓相似タル

カ故ニ同神スルハ此ナルハシ久々都北賣久
ニ都北古命ハ古大神近幸ノ時ニ相遇スル処
ノ神ニメ其地名ニ概テ神名ヲ称スルニ至シ
リ然レハ此地主ノ神ニメ菊理媛命ヲ奉祀ス
ト云ハ誤レリ旧ト神名帳考正ニ菊理媛ヲ填
ルニヨレリ各非トスヘシ今景神ハ久々都北
賣命久々都彦命ニ神ヲ祀ルトシテ神宮ノ旧
典及後ノ傳習ニ從ヘリ

川口 下久具ノ六町南ニアリ 正統

紀州田九領ナリ 属邑中野ナリ 川口ノ名
義ハ一瀬谷ヨリ所出ノ河流ト多氣郡大杉谷
ヨリ流ル大河ノ下流ト此トコロニシテ落合

フテ又東ニナガル豊宮川ノ水源ナリ故ニ
ニ名ツク

小川 川口ノ南三十一町ニアリ 正統

紀州田九領ナリ 方俗惣載メ小川谷三郷ト
称ス本邑ハ中之郷トス桐子垣内中郷ヨリ三
十丁川口ノ南一丁ニアリ方俗垣内ト称ス
属邑道ヶ野 本邑ノ渠位ニアリ 西垣内
ハナシ 畦地等アリ 栗原 柑子垣内ノ河
康ニアリ 栗原三郷ト称スハ西垣内ハナシ
畦地ナリ 神鳳抄云小河生鮎御薙又内宮柑
子御薙三斗六月柑子垣内ノ名ニ應ノ旧音此
ニ有スル処ナリ

五ヶ町 小川中郷ノ十六町南ニアリ 正税五

十六石 紀州田九領ナリ

本越 五ヶ町ヨリ六町南ニアリ 正税五十二

石紀州田九領ナリ

長官祠 同処ニアリ高二石四斗五升紀州領

主ヨリ免許アリ

日向 小川中郷ヨリ八町河南ニアリ 正税百

石紀州田九領ナリ 属邑小原アリ本邑ノ良

位ニ居ス

火打石 駒ヶ野ノ河東ニアリ 正税

紀州田九領ナリ

駒カ野 本越ヨリ二十町南ニアリ柳村へ七丁

此間川アリ 正税六十一石 紀州田九領ナリ

属邑彦邑アリ本邑ノ南ニ一里塚アリ本郡

棚橋へ川舟二里同郡山田へ本邑ヨリ舟ニ下

四里薪炭等運漕ノ賃賣ス上下往來スルアリ

リレヨリ川上へハ舟イタラス

小萩 駒ヶ野ヨリ坤位ニアリ 正税百三十石

紀州田九領ナリ

奥河内 本越ヨリ坤位ニアリ 正税七十七石

紀州田九領ナリ

棚橋 下久具ヨリ北ニアリ宮河ヲ舟涉ナリ

正税三百四十三石 紀州田九領ナリ 岩坂ト

紘又坂路アリ同郡田九府城及勝田ニイタル



又本郡南海ニ棚橋竈アリ混スヘカラス 神
鳳抄云岩坂御園此地ニ有スト云否未詳 外
宮神領目錄云岩林御園御上方油三升此外口
入料二升

收戸 棚橋ヨリ西六町ニアリ 正税百三十六

石紀州田丸領ニアリ小藤山本邑ノ良位ニア

リ山上ニ富士浅間祠ヲ祭レリ方俗浅間山ニ

称ス本郡四方四五里ヨリ臨ム園ナル山ナリ

余憶コニ小富士山ナルヘシ形勢富士峯ニ仿

彿タリ或ハ伊勢富士ト称ス 又其南ニ神

園山アリ度會延貞齋居奇談云國東山ノ東牧

戸村ト云ニヘツノ山アリ峯嶺へ攀ニ彌リテ

諸山ニ秀タレハ俗ニ伊勢富士ト云ナリ此處

山ヲ都ノ富士ト云ハ富士ノ方位ニメ都近キ

高山ナレハ然云ナリト聞クニ雍州府志ニハ

冬雪ノ暮春マテモ残レル故ナリト云ヘリ近

世和哥ニモ詠リ伊勢富士ハ西南ニ當リテ富

士山ノ方位ニモ非ス左右ノ山クニ離レテ独

セル姿ノ富士ヲヤハニ見ヘケレハ伊勢富士

ト云習ナルヘシ云云按ルニ前説ニ拠レハ其

詳ヲ不得非トスヘシ

牧戸岩蹟 同処ニアリ国司北畠家ノ麾下牧

戸氏住セリ

平尾 牧戸ノ乾位七町ニアリ 正税二百三十

二石紀州田九領也旧名平生今平尾ニ作ル
火久保 平尾ノ西五町ニアリ 正税二百六十
石紀州田九領ナリ 属色立岡本邑ノ西二十
町ニアリ 又草場アリ 本邑ヨリ五丁許山
谷ノ中ニ入テ滝アリ 国東山ノ麓ニメコレヨ
リモ国東山ニ登ル
式内大國玉神社 度會延經神名帳考證云大
國玉神大己貴命一名也今上楠村産社称明神
是乎 度會正身再考證云考證ニ此二社上楠
村下楠村ノ産神欵ト記セリ按スルニ以上ノ
例ハ同府大國玉ノ上ニ地名ヲ冠ラセトモ此
テハ不然有式ノ神社ト並載タルニテ有式ノ

国府ノ神社ナルヲ知ヘシ大國玉モ此例ニ準
ス神名未考本ヨリ地主ノ神ナルヘシ 今詳
ニスルニ神名帳考證 大國玉神社ト標スル
ニ批テ大國玉ハ大己貴命ノ别名ナリ上楠村
ノ産社ニ祀リテ明神ト称スル処是ナリヤト
疑ヘリ再考證ニ国生社大國玉社ニ社トモ上
楠下楠也ヲ産社ニ坐欵ト前考證ニ惑ヘルヲ
凡テ大國玉ノ上ニ地名ヲ冠セテ度會大國玉
比賣社大間国生社等ノ名義ニ例スルニ異ニ
トイヘ日本帳ニ有式神社国生神社大國玉神
社ト陸續ノ並記タレハ有前村ノ国生ノ神社
ト知レリ其大國玉ノ名ハ此件ノ例ニ准スト

イヘリ愚考ルニ考證ハ大國主神社ヲ大己貴
命ノ一名ニメ大國主或ハ大物主凡別名ヲ稱
スルニヨレハ社号ニ由テ祭神ヲ大己貴命ト
定タルハ然リトイヘト上楠村ノ産社ニモア
ルヘシ此ニ注シタルハ其微詳ナラズ又再考
證大國五大物主ノ例ニ拠テ度會大國玉比賣
神社ニハ大國玉命佐々良比賣命ヲ奉祀スル
ハ當レリ然レニ見郷堅田社ヲ大國玉比賣神
社ニ充テ大國玉命澤女命ノ二神ヲ配祭ルト
云ハ既ニ後號堅田社ニ論スルカ如ク倭姫命
世紀ニ佐見都比古命佐見都比賣命ヲ祀ルト
載タルニ佐見都比賣ハ沃女命ト同神也ト考

證ニ解スルハ信シ難シ猶世紀ニ佐見都比古
佐見都比賣ノ二神ト記スルニ大國主命ハ十
シ此説ニ從フ中ハ佐見都比古ヲ強テ大國主
ニ充タルト聞エタリ然レハ佐見都比古ニ大
國主ノ名義ナシ況元祿九年 公ニ告ス内宮
神宮勘文ニ堅田社ノミアリテ二十四処ノ樓
社大國玉比賣神社ト云ナン猶堅田社ニ祭祀
倭姫内親王ト填ル中ハ世紀ノ佐見都比賣ヲ
奉祀ノ説ハ採用サルニ似リ然レハ大國玉比
賣社ノ在処ハ詳ナラズ又祭神モ不知ト云ヘ
シ此例ニ拠レハ大國玉ノ名ニ拠テ大國玉命
ヲ祀ルヘシト云ハ宜ナリ式ニ有貳神社同生

神社大國玉神社ト次條ニ注ストイヘ他郡
他社モ次第ニ連續メ載ストイヘト遊ニ其所
坐ノ地異ナル若干ナリ然レハ聯綿ノ注スト
イヘ其徵トメ有式因生ノ神ト定難シ故ニ
有式郷ニ坐スト置ルニ夕ヘス式社案内記ニ
大國玉神社在大久保村今云弁天トメ五十嵐
久貞ヲ始其後順拜ノ徒從ヘリトイヘト本社
ハ式ニ多氣郡ニ隸スレハ上下楠村及大久保
村ハ度會郡ナリ猶今古郡ノ差ヒタルニハ非
ス多氣度會ノ郡界ニ遠ク差誤アルヘキ義ナ
シ然レハ本社ノ在処未詳ニメ其奉祀ノ神名
ヲ知ヘキハ非ス故ニ姑ク闕如メ後誓ヲマツ

モノナリ

鮫川 大久保ノ坤位廿五町ニアリ 正税二百

六十三石 紀州田丸領ナリ

東原 鮫川ノ良位ニアリ 正税千五百四十五

石紀州田丸領ナリ 屬邑茶屋村本邑ノ乾位

ニアリ又庄出アリ多氣郡野中ヘ十九町アリ

同成川等ヲ総名ノ原ト稱ス西原ノ義ナルヘ

シ本邑ニ對メ稱スナリ 神鳳抄云原御園

式内朽羅神社ニ東原ノ北位宮田森ト云ニ了

リ或久麻良比神社ト稱ス祭神于依比賣命神

名秘書云朽羅社水神也 在田辺郷原村 延曆

儀式帳云久麻良比神社一處稱大歲神兒千依

比賣命形石座倭姫内親王御世定祝正殿一字
長七尺弘四尺高五尺以板菅奉玉垣一重長三
丈六尺坐地二段四至東南公田西北溝右社造
破壊之時同郡司以正稅箱修造如件以前祝等
大神宮司卜食定之移造伊勢国司 寛文撰社
再興記云寛文三年八月廿九日朽羅社田邊郷
東原邑ヨリ一町許乾ノ方ノ野中ナリ三四十
間四方モ有リ松原ナリ拜所ハ北ノハツレニ
在四方悉ク畠ナリ拜所ノ中ニ古キ藤カツラ
古ヘヨリ此藤ヲ伐ル丁無之ト申傳ヘナリ
宮立同九月七日朽羅社六尺ニ四尺 同記内
宮長官氏富勘文狀云久麻良比社はハ朽羅社

ノ事欽ト被存候但又別社欽御考可有候又玉
垣長三丈六尺トハ九尺四方ノ丁欽其内ニ長
七尺社ハ難立候半欽又三丈六尺ヲ片一方ノ
寸法ニ仕候ヘ、廻ノ長十四丈四尺ニ候工ハ
餘リ廣キ丁ニテ不審候丁下畧 精長云久麻
良比社朽羅社ト同シ 度會延經神名帳考證
云朽羅神社干俵比賣命道祝神欽朽田土之略
欽羅祝也尾張国和尔良神社国帳云和尔天神
義式帳云久麻良比神社久麻道俵也在旧辺郷
原村 度會正身神名帳再考證云朽羅神社地
名ナリ此地田九ノ西南東原ト云或ハ原ノ大
辻庄云廣原ナレハクチラハ口原ト云畧語ナ

りくちハ道ノ如シ又儀式帳ニ久麻良比神
社トアリ是雲拂ヒノ義ニテモハノ切まナシ
ハ爾云ナルヘシ田作ノ爲止雨ヲ祈ル風神ナ
ルヘシ今詳ニスルニ延經考證ニ朽羅神社
ノ名義ニ拙テ朽ハ国土ノ畧言ナルヘシ羅ハ
祝ニノモふノ切羅ト利ト通ス国土祝義ヲ據
レリトス故ニ祭神ハ道祝ノ神ナルヘキ依
比賣命ヲ祀ル尾張國和尔良ト羅ト同ク此朽
羅神社ヲ内宮儀式帳ニ久麻良比神社ト名リ
其久麻ハ道ノ隈曲ノ謂ナリ故ニ道祝神ヲ定
祀スル処ト云注ナリ正身再考證ハ此地廣野
ノ地ナレハ朽羅ハ口原ト云畧ナリ儀式帳ニ

久麻良比ト名リハ雲ハラヒノ義ニメ但
為ニ雨ヲ止ムルヲ祈ル風神ヲ奉祀スル處ナ
ルヘシト云解ナリ愚按ニ朽羅神社ノ名義考
證ニ啓明スル処旧典ニ近シ内宮儀式帳ニ久
麻良比神社大歳神見干依比賣命ト云ニ拙テ
即久麻良比ハ別号トスル中ハ同轍ナリ久麻
良比ハ志等美神社ヲ薮野井庭ニ作ルニ同シ
猶神宮雜話云久麻良比神社大歳神見干依比
賣命ニテ延喜式ニナシ儀式帳ニアリ官帳ノ
内ナリ未詳ハ云片ハ疑アリ朽羅神社ト異ナ
ル如シ然レ凡寛文撰社再興ノ中内宮一祓宜
勘文ニ久麻良比神社ハ朽羅社ノ事歟トアリ

テ即朽羅社ヲ定祝アリシ處彼記ニ見エタリ
神名秘書朽羅社水神也在田辺郷原村ニアリ
ト祭神水神トスル中ハ前説チ依比賣命ト異
ナリ然レ此地ニ水神ヲ祭ルヘキ謂テ之
禦スヘキ大河モナキ處ニ人其灵神ヲ崇ムヘ
キ例前ニナキ處ナリ恐リハ誤ナルヘシ久麻
良比社ハ此ニ填ル中ハ前説ニ從テ依比賣
命トス再考證ニ前考テ作スルニ及テ朽羅ハ
口原ノ謂ナリトイヘ旧記ニ在田邊郷原村
トノシアルニ此テ其東西ヲ指ス處ナシ今東
原村ノ宮田森ニ在ル處ヲ指ス中ハ東ハ口西
ハ奥ニツ當レリ云ヘシ西原ノ名ハナシト

云ヘ此其西ニアル處ノ野中村ヲ當ル中ハ今
東原成川野中ノ三邑アリ中位ハ成川トスヘ
シ上世ハ今ノ如キ別區ナルニアラス都テ原
村ト稱スト憶ヘリ然ル中ハ其東原ニ久麻良
比ノ神社ノ在ル處ノ典故ナシト云ヘ且外ニ
指スヘキナシ殊ニ再真記ニ大中臣精良云久
麻良比朽羅社ト同シト云中ハ此ニ必セリ猶
内宮也四處攝社ニメ儀式帳ニ朽羅社ノ名ナ
ク久麻良比社ヲ加テ其列ニアル中ハ朽羅社
ノ別名ハ真ニ然リト云ヘシ然レ此神名秘書
ト儀式帳神名ノ異ナルニ此テ踳躅スト云ヘ
シ其神名秘眉ハ前ニ弁ス如ク水涯ノ地ニ非

ス年壞ノ廣野ニメハ定難シ此神社モ大神滝
原宮ニ遷幸ノ路次ナレハ倭姫命定祀スル処
ト儀式帳ニ出又此原村ハ野尻ト丹生街道ノ
達衢ナル処ナレハ道祝神ヲ祀ルト云モ故ア
リ各前考證ニ從フヘシ再考證ニ東原ハ原ノ
大辻氏云ハ非ナリ大辻ト倍稱スルハ野中村
ニ了リ別ナリ久麻良比ハ雲拂ノ訛轉ニメ風
神ヲ祀ルヘシト云ハ牽強ナリ既ニ儀式帳ニ
其神名ヲ載ル必ヲ付スル至レリ前ニ云道ノ
隈祝或ハ被ト云氏強テ適スルニ及テハ謂ヘ
キナリ各其徵ナキ臆斷ニメ妄ナリ信シ難シ
式社案内記前説ニ從テ干依比賣命ヲ祀ルト

ス此ニ姑ヲク從フヘシ久麻良比ノ義ハ後替
フ俟モノアリ

涌福智山國東寺 同処南ノ岡東山上ニアリ
天台宗 紀州領主ヨリ高二十石同印免許ア
リ 神鳳抄云内宮久津賀御園 一説云 奥
院白山権現伊弉二尊ヲ祀ル 又山後ニ大神
宮胞衣ヲ藏ムト云処アリ小石ヲ積石壇アリ
土俗心願アルモノ鍋釜ヲ相ム処ノ鍋取ト云
モノヲ多ク献ス 又熊野権現旧地アリ 又
荒神堂素盞烏尊ノ傳アリコレヨリ十八町坂
路ヲ下リ百瀬川ト云アリ水源ヲ百瀬ノ滝ト
名ク又コレヨリ七八丁奥ニ野川瀧アリ一名

鳴子滝氏云原村ノ領内ナリモ、瀬川ヨリ廿
丁余幸ノ神此地ノ考アリ略之
伊勢順禮札処第九番ナリ

神代皇國を以てぬる山なり其福智を漏るは佛なり
北畠権少将国永集云禪也法印トイハル人國
東ニコモリスルヨシノヘン事ニ

寺の名も此山にぬる山なり其福智を漏るは佛なり

蚊野 東原茶屋ヨリ十五町東ニアリ 正税千
百六十四石紀州田九領ナリ田邊郷ノ内ナリ
田九府城ヨリ紀州熊野街道ニノ松林数町了
リ蚊野松原ト俗稱ス
式内蚊野神社 同処北ニアリ蚊ノ森ト稱ス

田乃家社ヨリ二十丁西ニアリ 古事記云表
那本玉者葛野之別進淡海蚊野之別祖也 延
曆儀式帳云蚊野社一処糸大神御蔭川神形石
坐十長谷天皇御宇定祀正殿一字長一丈弘九
尺高五尺下畧 和名鈔並江國愛智郡蚊野郷
アリ 神名秘曆云蚊野社在田邊郷蚊野邑
元々集社記云蚊野社在田邊郷蚊野村前社大
神御蔭川神 寛文樞社再興記云寛文三年八
月廿九日田邊郷蚊野社改ム蚊野邑ノ在処ノ
中北ナリ社ノ幅三十間餘四方モアリ北西田
南八家西八通道ナリ此社ニ檜木多有之社ナ
リ此社古ヘヨリ少キ社檀アリ然レ氏今少シ

奥へ立サセ候処、柱穴ヲ掘セ候へハ二三尺
下ヨリ昔ノ柱穴一掘付柱六本ヲ跡ニ朽タル
柱ノアトへ掘付ケ候宮立九月七日蚊野社
六尺ニ四尺又云十二月九日蚊野社東原社
積良村菌相社左宮儀式右目前但菌祖社ニテ
ハ御神宝多ク納積良一宿ナリ度會延經神名
帳考證云蚊野神社瀨織津姫命大神ノ御蔭川
神中臣放祝詞云速川乃瀨仁坐瀨織津姫倭名
鈔云靈美加介又用魂魄二字在田邊郷蚊野邑
度會正身神名帳再煮證云蚊野神社蚊野ハ
假字^ハの[。]テ[。]即[。]知[。]け[。]の[。]ナリ[。]け[。]ヲ[。]ハ[。]ト[。]呼[。]ひ[。]の[。]
上[。]知[。]ヲ[。]畧[。]ス[。]ウ[。]イ[。]リ[。]ニ[。]音[。]ハ[。]畧[。]濁[。]ノ[。]例[。]ナ[。]シ[。]稻[。]野[。]

トハ其処ヲ見ルニ廣野ノ田地ナレハ云神名
秘書ニ大神御蔭川神トヌル不佳ナリ千歳ノ
昔トハ云十カウ此辺川アリシヤ否其跡ヲ不
見瀨織津姫トスルハ猶解スヘカウス實ハ穀
其ヲ祀ルナルへシ凡大神御經行ノ生地櫛田
社魚見社ノ類ノ如キ暫モ止リ坐セシ跡ニハ
社地ヲ設ケシト世紀ニ分明ナシハ絶テ其神
ヲ正スヘカウス此処モ大神御經行ノ地ナル
ヘケレハ止リ玉ハスト云ヘ凡過化存神ノ具
ヲ祭リシモ知ヘカウス今詳ニスルニ延經
考證ニ蚊野神社神宮旧典ニ從テ別ニ論ナシ
中臣被詞ヲ奉テ瀨織津姫命ヲ此ニ祀ルハ速

川ノ瀨ニ坐スト云文ニ批レリ和名抄ニ壺ハ
美加介ト訓スルニ批テ御蔭川ハ大神ノ靈川
ナリト云義ヲ合テ注セリ又正身再考證ニ歟
野神社ノ地敷野ト云ハ計野ノ假字ニテ宇許
野ノ畧ニメ計ヲ加ニ通ス故ナリ即縮野ニメ
此地廣濶ノ平地ニ田墾多キ処ノ名トス又神
名秘曆ニ大神御蔭川神ト稱スルハ非ナリ今
閱スルニ此江ニ川アリシ水脈ヲ不見処ナリ
故ニ瀨織津姫命ヲ祀ルト云モ猶非トスヘシ
縮野ノ名ニメ穀矣ヲ祀ル処ナルヘシ猶皇大
神遷幸ノ地ニ神社ヲ設建ル処ハ倭姫世紀ニ
例多シ其神ヲ正スニ及ハス比幸ノ地ナレハ

過化存神ノ謂ニメ皇大神ノ冥ヲ奉祀スルモ
測リ知難シト云解ナリ愚按ニ考證ニ神名秘
書儀式帳等ニ批テ大神御蔭川仲ト云ハ然リ
中臣祓詞ヲ批トメ速川瀨ニ坐ス瀨織津姫命
トスルハ牽強ナリ旧典ニ御蔭川神ノミ奉テ
其神ヲ指スナシ然ルニ強テ配合スルハ暗推
ニメ至當トシ難シ然レ氏和名抄ニ靈ヲ美加
介ト訓スルニ批テ御蔭ハ大神御蔭河神ト稱
スレハ皇大神ノ冥ニメ耶神名秘書ニ荒祭宮
曰天照御龜亦名瀨織津比咩神也トノスルニ
批テ其遷幸ノ遺址ニ皇大神ノ荒魂ヲマツル
処ト云義ニ合ヘリ然レ氏大神御滄川城田郷

矢野田邊神社ニ祭ル処トイハ其地ニ水脈
ナリ河流ノ異ヲ祭ルヘキナキニ拠テ既ニ其
條ニ辨セリ又此社モ世紀ノ所載ニ拠レハ概
田社ヲ定祀シ矢野村田邊ヨリ此救野ニ至リ
相鹿瀬ニ辻幸ノ路次ナレハ多氣郡土羽ヨリ
田丸ニイタリ河流ハアリト云ハ既ニ土羽
ニメ御舟ヲ停テ陸行ノ次第ナレハ再考ニ難
スル如ク此地モ矢野ニ同ク今河流ノアル処
ナシ然ルニ御蔭川ヲ奉祀スル処謂ナキニ似
夕リ猶世紀ニ倭姫命定祀ノ丁ナシ故曆儀式
帳ニ大長谷天皇御宇定祀ト云仲ハ後世ノ所
祀ニメ大神遷幸ノ旧址ノ一ヲ崇敬ノ御蔭川

ト云ニ對メ御蔭川ト称シ大神荒魂ノ瀨織津
姫命ヲ祭亨スルニ至レリ此イテハシ再考證
ニ救野ハ稻野ノ義ニメ穀冥ヲ祭ルナルニシ
ト云モ埋アリト云ハ氏強テ徵トシカタシト
スハシ考證ニ所言ハ旧典ニナシト云ハトモ
大神荒魂ヲ祭ル処トスル井ハ然リトスト云
ハ氏上ニ稻野ト云カ如ク其徵トスハ千回説
ナシ故ノ今姑ク其地ニ河流ナキニ拠ルト云
ハ氏旧典御蔭川神ト云ニ從ヒテ強テ其神名
ヲ正サルヲ真トスハシ式社案内記及撰社考
諸記等考證ニ從テ瀨織津姫命トスト云ハ氏
從ヒカタシ古屋草紙背書国誌此ニ從フト云

一此名非トス一キナリ

積良 東原ノ東ニアリ 正税二百八十九石紀

洲田丸領ナリ城田郷ニ属ス本郡沼水郷ニ津

村アリ訓相同シ故ニ方俗此処ヲ上津村ト称

ス沼水郷津村ハ佐ハニ隣比スル故ニ佐八津

村ト分別セリ甲ト本邑ハ津不良ナルヲ後ニ

積良ト字ヲ作タルナリシ 神鳳折云積良

御牧

式外津布良神社 同处生土神ノ域内ニアリ社

殿十三坐神津布良比古命津布良比賣命 内

宮延曆儀式帳云大水神児津布良比古津布良

比賣命 形式 式外撰社十五处ノ内ナリ内宮宮域

逸并第三十三ニ建タリ 寛文撰社再興記云

城田郷積良村此在所ヨリ五六町南山ノ根ニ

社地アリ山宮ノ神事場ナリ東西南北十四間

ホトアリ社ノ申酉ノ方ニ石一ツ三ツアリ是

古ヨリ拜処ト云北ノ方ハ田ナリ又同右所ニ

コモリノ社ト云アリ但セニダウ谷ト云山宮

ノ社ヨリ西ニ五六町山ヲ隔テ谷アリ社地坤

良ニ十五六間アリ巽乾ニ十間ハカリアリ拜

所ハ少東ノ方中程ニアリ又内所ニ大森ノ社

ト云アリ是良坤ニ十六七間巽乾ニ十間ハカ

リ拜所ハ西ノ中程ニアリ前ニ小中野アリ何

レモ此三所ハ五六町程隔テ並ヒテ有之然凡

此処ニハ楳社無之ニ依テ先々延引申込ニ沼
本郷津村ノ百姓氏ニ今度園相社立可申ト申
候へハ何ト仕候戴覺儀ヲ申此津村ニハ古ヨ
リ少モ嘗ト有之トハ申傳無之ト皆々口ヲ
揃工申候故此津邑へハ楳社第一リ園相ニテ
候へ氏立不申其後城田郷積良村へ園相ノ社
立申候此立所ハ積良村ノ一二町南東ノ方ノ
山ナリ古ヘヨリ社モ付ナリ今度立候社ハ九
尺ニ七尺ノ社南面ナリ此山南北ハ一町餘東
西ハ二町餘モ有之欽爰ニ沼本郷津村左屋八
左衛門ト申モノ兄ノ作左衛門ト申者ト公事
ヲ仕リ明年六月於田九一年ノ間彼ハ左衛門

篝舎仕リ候ナリ所ノ者共園相社ノ御崇ト申
ナリ兄ノ作左衛門ハ社ノ義ニ就キイロク肝
煎仕候故無別義ト所ノモノ申候ナリ 度會
清在旧蹟開書云宮川ノ南岸渡口ノ西二里ニ
神園邑アリ村 園相社アリ 神名畧記云園
相ノ社曾奈比彦命儀式帳云大水上兒在沼本
郷積良村今津邑ニアリ郷ニ錯リテ社ヲ積良
邑ニ建リ寛文中改之案スルニ寛文楳社再
興ノ時神園邑ニ建サルハ遺憾ナリ或云曾奈
比彦命園作神ハ一神二名ナリ 藤本延賢楳
社參詣記鴨神社條云是ヨリ津布良村ニ式外
津布良神社ニ詣ハ社ナシ矣神津布良比古命

津布良比賣命ニテ儀式帳ニハ大水見ト載
タリ鴨嶋ヨリ廿五六丁云云 左云津布良神
社ニ座津布良比古命津布良賣命城田郷津布
良町ニヨリ社ナシ當邑ノ産神ノ森ノ中ニ二
三本ノ杏ノ木ヲ址トス 今詳ニスルニ寛文
再真記ニ所謂積良村五六町南ニ山ニ傍テ所
立ノ社地山宮神事場トス内宮年中行事ヲ考
ルニ内宮山宮古ヘハ津不良谷ニテ祭リシヲ
今ハ宇治郷北谷ニ勧請スト載タリ北谷トハ
宇治菩提山下同楠部トノ間ノ山谷ナリ然レ
ハ彼地ハ山宮ノ祭場ノ旧地ナリ寛文中大司
精長再興ノ中沼木郷津村ニ不容カ故ニ積良

津村同名ナルヲ以テ姑クコトニ園相社ヲ建
ル処ナリ其後旧ニ復シテ津邑ニ建ルカ故ニ
今津村ト佐八ノ間曠野松林ノ中ニアリ度會
清在所言ハ神園邑ニ其時再建セサルハ遺憾
トスルハ其徴アリ後疏本郡津村園相神社ノ
條ニ辨セリ寛文再真記文ノ如キニ其條ニ可
徴ト云ヘ尺者官ノ曉シ易カラシヲ欲ノ姑ク
コトニ標出ス併指ヘシ

勢陽五鈴遺響度會郡卷之二終



Faint vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is mostly illegible due to fading.



紙數六拾叁枚

13

